



PRESENTS



## 取扱説明書

プレクスター株式会社

## はじめに

この度は PlexTools Professional をご利用頂きましてありがとうございます。  
PlexTools Professional は、PlexWriter Premium/Premium2 及び DVD ドライブ PX-712A/PX-716A/PX-755A/PX-760A の性能を十分にご利用いただける CD/DVD-RW ドライブユーティリティソフトウェアです。

## ユーザーベネフィット機能概要

**Vari Rec** とは、CD/DVD の作成の際、書き込みレーザーパワーを調整する機能です。プレイヤーでの読み出しやすさを変更することができます。一部の機種及び一般ライティングソフトウェアではレーザーパワーは±2 の範囲でしか調整ができませんが、PlexTools Professional では 0.1 刻みで±4 の範囲での調整が可能です。

**GigaRec** とは、CD-R メディアオリジナルサイズに対し、記憶容量を 60%～140% の間で変更ができる機能です (140%は Premium/Premium2 のみ対応)。各種マルチメディアファイル及びディスクバックアップ用途などにご利用いただけます。

**Silent Mode** とは、ユーザーの好みに合わせてドライブの動作速度を調整できる機能です。またトレイ開閉速度についても、お客様の好みの速度に設定することが可能です。

**SecureRecording** とは、機密性の高いデータをパスワード設定することにより、パスワードを知っている方のみがデータの閲覧を行うことができる機能です。これにより可搬性の高い CD-R ディスクでのデータの保護が可能となります。

**Q-Check** とはメディアの品質を確認することが出来る機能です。ドライブの種類によっては使用できないテストもありますが PX-716A/PX-755A/PX-760A では C1/C2 Test、FE/TE Test、Beta/Jitter Test、PI/PO Test、TA Test の5種類全てのテストをご利用いただけます。

## ソフトウェア使用許諾書

- 1、ソフトウェアはプレクスター株式会社の著作物です。したがって、本ソフトウェア及び本書の一部または全部を無断で複製・複写・転載・改変することは法律で禁止されています。
- 2、本ソフトウェア及び本書に記載されている内容に関しては、改良のために予告なしに変更することがあります。
- 3、本ソフトウェア及び本書の内容に関しては万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、弊社テクニカルサポートデスクまでご連絡下さい。
- 4、本書に記載されている注意事項を遵守されずに発生しましたドライブ等の故障、データの消失、業務の中断、逸失利益、精神的損害等を含め、いかなる免責も負いかねますので、予めご了承ください。
- 5、本ソフトウェアは「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略的物資輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際は、本政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
- 6、本ソフトウェアの著作権等の知的財産は、いかなる場合においてもお客様に移転されることはありません。
- 7、本ソフトウェアのソースコードについては、いかなる場合においてもお客様に開示、使用許諾をいたしません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや逆コンパイル、またはその他リバースエンジニアリングを禁止いたします。
- 8、書面による使用許諾を得ずに、本ソフトウェアをタイムシェアリング・リース・レンタル・販売・サブライセンスすることを禁止いたします。
- 9、本ソフトウェアは医療機器、原子力設備や機器、宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、または高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本ソフトウェアを使用され、本ソフトウェアの動作により人身事故、火災事故、社会的損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、セキュリティ対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
- 10、本ソフトウェア及び本書は日本国内仕様です。本ソフトウェアを日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本ソフトウェア及び本書に関し、日本国外への技術的サポート及びアフターサービス等を行っておりません。予めご了承ください。
- 11、本ソフトウェアは、一時に一台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
- 12、本ソフトウェアまたはその使用权を第三者に再使用許諾、譲渡、移転等の処分を行うことを禁止いたします。
- 13、本ソフトウェアを使用して、著作権者の許諾なしに、音楽 CD およびアプリケーションを複製することは個人的に利用する場合を除き、法律で禁じられております。
- 14、弊社はお客様が上記のいずれかに違反された場合は、いつでも本ソフトウェアの使用を終了させることができるものとします。

以上

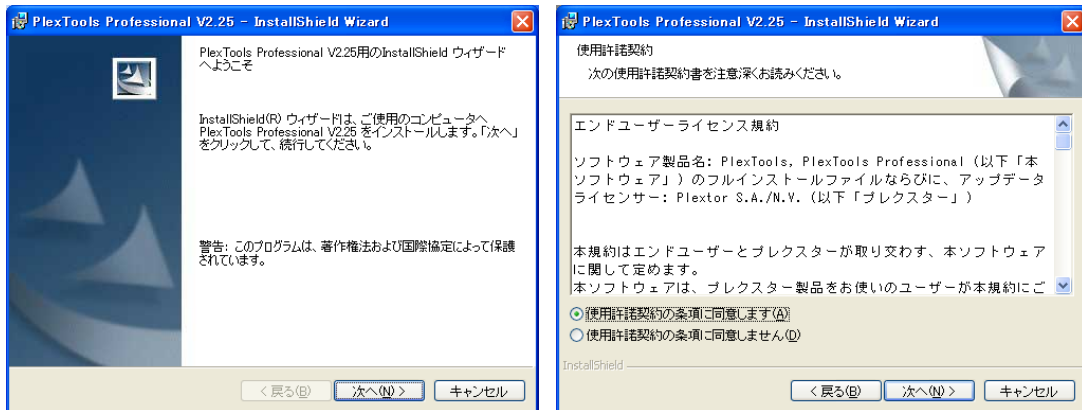
## 目次

<b>1、PlexTools Professionalのインストール</b> .....	5
<b>2、PlexTools Professionalの起動と終了</b> .....	6
2. 1) PlexTools Professionalの起動 .....	6
2. 2) PlexTools Professionalの終了 .....	7
<b>3、CD/DVD-ROMドライブの選択</b> .....	8
<b>4、各種設定</b> .....	9
4. 1) 全般設定 .....	9
4. 2) 書き込み設定 .....	11
4. 3) freedb設定 .....	13
<b>基本的な使用方法の紹介</b> .....	15
<b>5、基本的な使用方法の紹介</b> .....	16
5. 1) 音楽CDをハードディスクに保存する。 .....	16
5. 2) 音楽CDを作成する。 .....	18
5. 3) データCDを作成する。 .....	20
5. 4) CDまたはDVDをコピーする。 .....	22
<b>各種ツールの説明</b> .....	24
<b>6、Drive Information</b> .....	25
6. 1) General情報タブ .....	25
6. 2) Features情報タブ .....	26
6. 3) CD読込速度情報タブ .....	26
6. 4) CD書込速度情報タブ .....	26
6. 5) DVD読込速度情報タブ .....	26
6. 6) DVD書込速度情報タブ .....	26
<b>7、Drive Settings</b> .....	27
7. 1) 基本設定タブ .....	27
7. 2) 詳細設定タブ .....	28
7. 3) VariRecタブ .....	33
7. 4) GigaRec / AudioMASTERタブ .....	34
7. 5) Silent Modeタブ .....	36
7. 6) SecureRecordingタブ .....	37
7. 7) SecuViewer .....	38
<b>8、CD/DVD Info</b> .....	39
<b>9、Multimedia Player</b> .....	42
<b>10、AudioCD Player</b> .....	44
<b>11、Digital Audio Extraction</b> .....	46
11. 1) Digital Audio Extractionメインウィンドウ .....	46

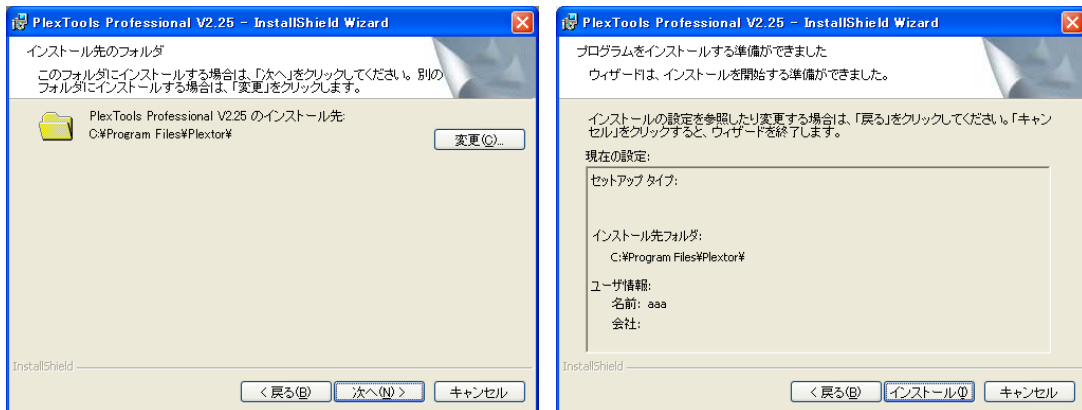
11. 2) Digital Audio Extraction設定ウィンドウ .....	49
11. 3) Digital Audio Extraction終了ウィンドウ .....	53
<b>12、AudioCD Maker</b> .....	<b>54</b>
12. 1) AudioCD Makerメインウィンドウ .....	55
12. 2) AudioCD Maker書き込みダイアログ .....	56
12. 3) AudioCD Maker終了ウィンドウ .....	58
<b>13、CD/DVD-ROM Maker</b> .....	<b>59</b>
13.1) CD/DVD-ROM Makerプロジェクト選択ウィンドウ .....	59
13.2) CD/DVD-ROM Makerメインウィンドウ .....	60
13.3) CD/DVD-ROM Maker書き込みダイアログ .....	66
<b>14、CD/DVD Copy</b> .....	<b>68</b>
14. 1) CD/DVD Copyメインウィンドウ .....	68
14. 2) CD/DVD Copy書き込み終了ウィンドウ .....	71
<b>15、CD/DVD R/RW Functions</b> .....	<b>72</b>
15. 1) RWディスク消去 .....	72
15. 2) PlexEraser .....	72
<b>16、CD/DVD Test</b> .....	<b>73</b>
<b>17、Read Transfer Rate Test</b> .....	<b>74</b>
<b>18、Write Transfer Rate Test</b> .....	<b>76</b>
<b>Q-Check機能解説</b> .....	<b>78</b>
<b>19、Q-Check C1/C2 Test</b> .....	<b>79</b>
<b>20、Q-Check FE/TE Test</b> .....	<b>81</b>
<b>21、Q-Check Beta/Jitter Test</b> .....	<b>83</b>
<b>22、Q-Check PI/PO Test</b> .....	<b>85</b>
<b>23、Q-Check TA Test</b> .....	<b>87</b>

# 1、PlexTools Professional のインストール

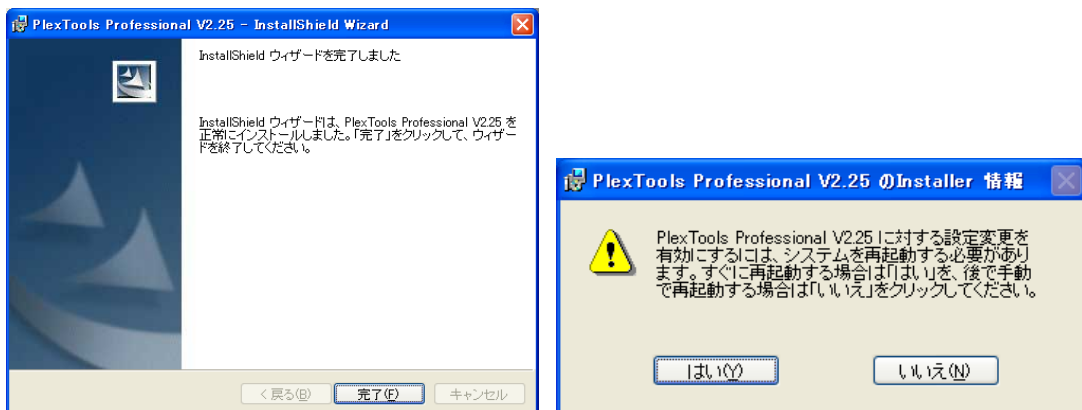
1) インストーラーを実行し、Setup ウィザードに従ってインストールを行ってください。



2) インストール先を選択します。(通常は、そのまま[次へ]を選択してください)



3) セットアップが完了しましたら、Windows を再起動してください。



4) スタートアップに登録され Windows の再起動後、自動的に PlexTools Professional が起動しタスクトレイにアイコンが常駐します。

## 2、PlexTools Professional の起動と終了

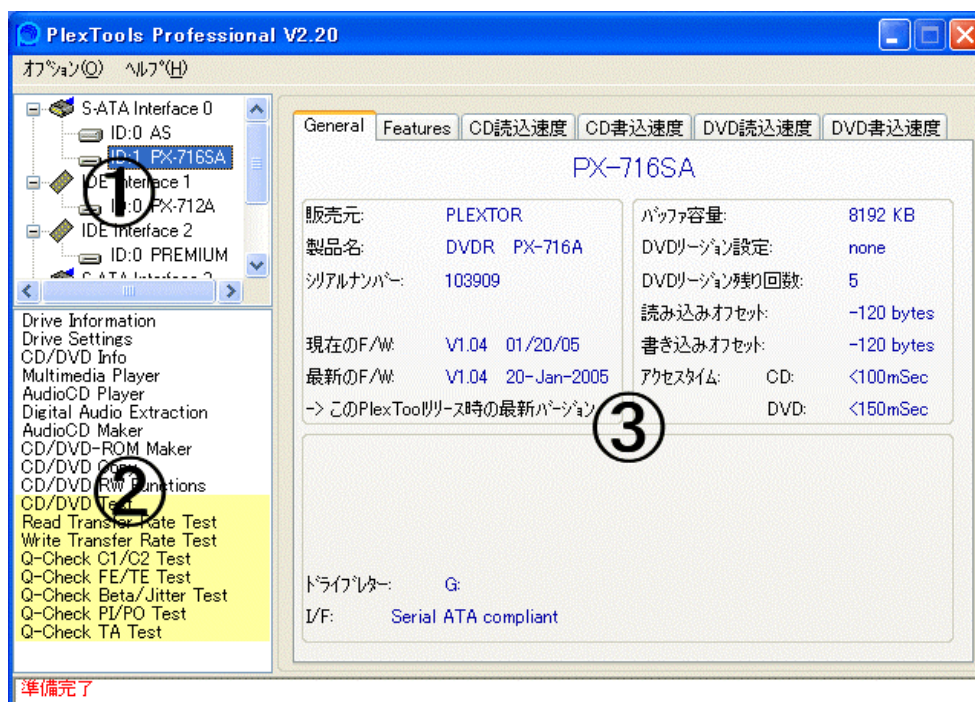
### 2. 1) PlexTools Professional の起動

PlexTools Professional を起動するには Windows のスタート/プログラムメニュー/Plextor メニューから起動するか、タスクトレイに常駐している PlexTools Professional のアイコンをダブルクリックして起動してください。



PlexTools Professional を起動するとシステムに接続されている機器の確認を行います。  
(この処理にはしばらく時間がかかる場合があります)

PlexTools Professional が起動すると以下のようなウィンドウが表示されます。



PlexTools Professional は3つのウィンドウで構成されています。

#### ① デバイスウィンドウ

現在接続されているインターフェースや機器が表示されます。

#### ② メニューウィンドウ

使用可能なツールのメニューが表示されます。

#### ③ ツールウィンドウ

メニューウィンドウで選択されているツールの機能や情報が表示されます。



#### 注意1、Windows のフォントサイズについて

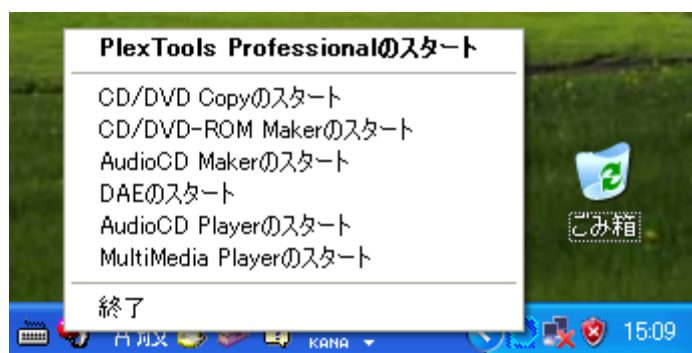
Windows のフォントサイズは標準のサイズを使用してください。  
表示欠けの原因となります。

## 2. 2) PlexTools Professional の終了

PlexTools Professional を終了するためには、オプションから終了(X)を選択するか、ウィンドウ右端の終了ボタン(×)をクリックして終了してください。PlexTools Professional を終了すると以下のようにアイコンが半透明の状態でタスクトレイに常駐します。



半透明状態のアイコンを右クリックすると以下のようなメニューが表示されます。



半透明のアイコンをダブルクリックするか、またメニューの“PlexTools Professional のスタート”よりPlexTools Professional を再起動できます。また各メニューよりPlexTools Professional のツールを直接起動できます。

完全に PlexTools Professional を終了させる場合はメニューの“終了”を選択して終了してください。



### Tips1、起動・終了時の各種設定について 4. 1)項参照

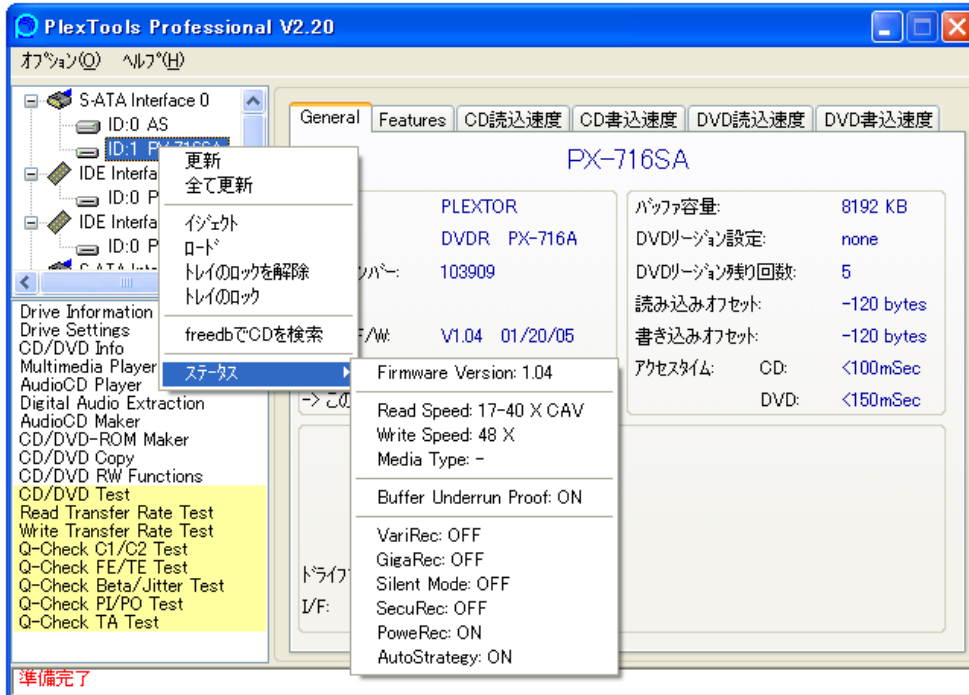
オプション/設定/全般のメニューでPlexTools Professional の起動、終了の設定ができます。メニューの終了オプションで“終了時に設定を保存”が有効になっていると、PlexTools Professional を終了することで各種設定を保存できます。(Windows の再起動やシャットダウンでは設定は保存されません)

また拡張オプションの“最小化時タスクトレイにアイコン化”のチェックを外すと起動時、終了時にタスクトレイに常駐しなくなります。



### 3、CD/DVD-ROMドライブの選択

左上のインターフェースウィンドウ上に表示されているCD/DVD-ROMドライブを右クリックすると、ドロップダウンメニューが表示されます。そのメニューでドライブに対しての更新(再スキャン)、トレイコントロール、freedbで音楽CDのタイトル検索ができます。またステータスでドライブの状態を確認できます。(トレイのロックはディスク挿入時のみ有効です)

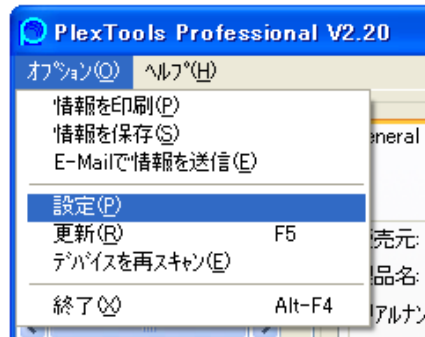


#### 注意2、外付け機器などのホットプラグに関して

PlexTools Professional は USB/IEEE1394 機器などのホットプラグに対応していません。PlexTools Professional 起動後に外付けの CD-ROM などをホットプラグした場合は PlexTools Professional を再起動するか、上記デバイスウィンドウのドロップダウンメニューの“**全て更新**”で接続されている機器を再認識させてください。

## 4、各種設定

メインウィンドウ左上のオプション/設定で PlexTools Professional の各種設定ウィンドウが表示されます



### 4. 1) 全般設定

全般設定では PlexTools Professional の起動/終了、各種設定の保存に関する設定ができます。



#### ・起動オプション

##### PC 起動時に自動起動

Windows のスタートアップに登録する設定です。チェックするとスタートアップに登録されます。

##### 起動時最小化 ・ 起動時最大化

PlexTools Professional 起動時にデスクトップにウィンドウとして表示する、またはタスクバーに最小化して常駐する起動時の状態に関する設定です。

## ・終了オプション

### 終了時に設定を保存

PlexTools Professional 終了時に各種設定を保存する設定です。チェックすると PlexTools Professional 終了時に設定がレジストリに保存されます。詳細は2. 2) Tips1を参照してください。

## ・拡張オプション

### 最小化時、タスクトレイにアイコン化

PlexTools Professional のウィンドウを最小化した際に、タスクトレイにアイコン化する設定です。チェックを外すとタスクトレイに常駐しなくなります。

### オーディオ CD 自動再生

ドライブにディスクが挿入された際、音楽 CD の自動再生を行う設定です。チェックすると有効になります。

### データ CD 自動再生

ドライブにディスクが挿入された際、データ CD の自動再生を行う設定です。チェックすると有効になります。

### レジストリ情報

Windows のレジストリに保存される PlexTools Professional の情報を消去、初期化する設定です。またファイルとして保存し、開く(読み込む)ことで複数の設定を使い分けることができます。

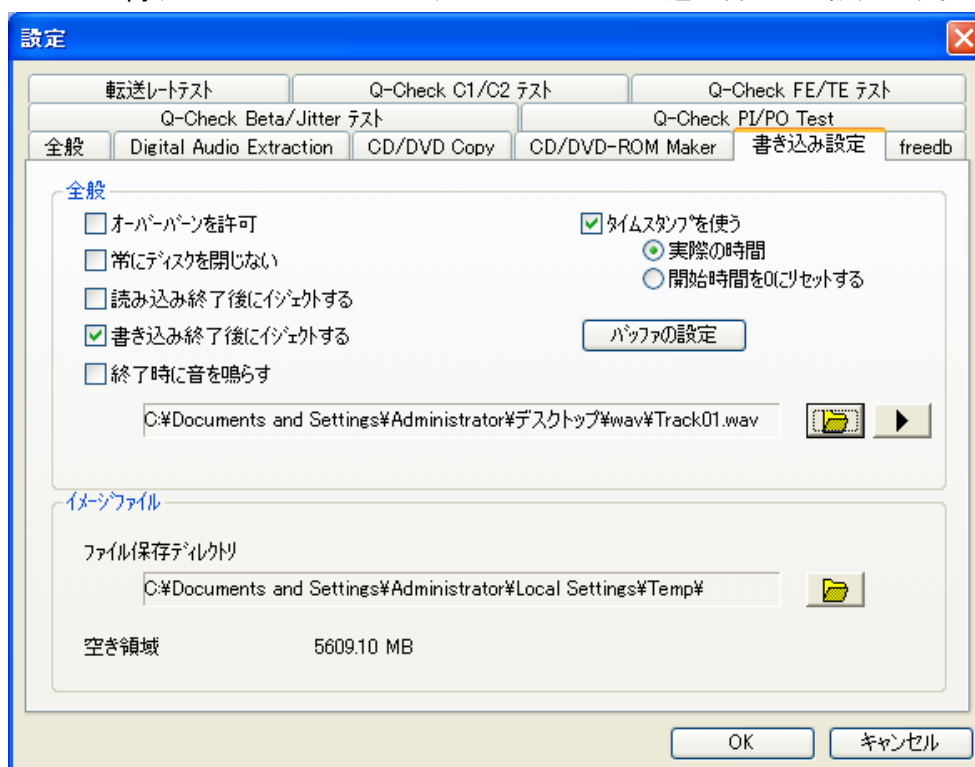


### Tips2、?マークについて

PlexTools Professional には所々に?マークが置かれています。マークをクリックすることで、それぞれの機能の説明が表示されます。

## 4. 2) 書き込み設定

CD/DVD Copy、CD/DVD-ROM Maker、AudioCD Maker 共通の書き込み設定です。



### ・全般設定

#### オーバーバーン許可

オーバーバーン(CD の容量を超える書き込み)を有効にする設定です。チェックすると有効になります。

#### 常にディスクを閉じない

PlexTools Professional は通常書き込み終了後、ディスクがクローズされますが(追記不可な状態)、ディスクをクローズしない(追記可能な状態)設定です。チェックすると有効になります

#### 読み込み終了後にイジェクトする

CD/DVD Copy でコピーするディスクの読み取りが終了した際にドライブのトレイをイジェクト(取り出し)する設定です。チェックすると有効になります。

#### 書き込み終了後にイジェクトする

トレイがイジェクトされた状態で書き込みが終了する設定です。チェックすると書き込み終了時にトレイがイジェクトされます。

#### 終了時に音を鳴らす

お好みの WAV ファイルを指定することで、書き込みが終了した際に音を鳴らす設定です。

## タイムスタンプを使う

書き込み進捗ウィンドウに時間を表示する設定です。以下のように表示されます。

### ・実際の時間

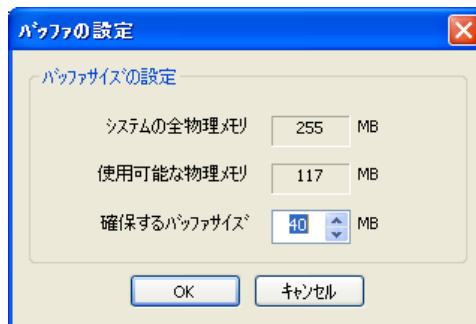
```
[21:45:49] Start Write Copy 1/1
[21:45:51] ライト中(Lead In) + CD TEXT
[21:46:12] Track 1をライト中 Start:00:00.00 Length:03:48.51
[21:46:22] ライト中(Lead Out)
[21:46:35] 指定したライト速度 : 24 X
[21:46:35] 最大ライト速度 : 24 X
[21:46:35] 実際のライト速度 : 22 X PoweRec : enabled
[21:46:37] AudioCD Maker: 問題なく終了しました
```

### ・開始時間を 0 にリセットする

```
[00:00:01] Start Write Copy 1/1
[00:00:03] ライト中(Lead In) + CD TEXT
[00:00:24] Track 1をライト中 Start:00:00.00 Length:03:48.51
[00:00:35] ライト中(Lead Out)
[00:00:47] 指定したライト速度 : 24 X
[00:00:47] 最大ライト速度 : 24 X
[00:00:47] 実際のライト速度 : 22 X PoweRec : enabled
[00:00:49] AudioCD Maker: 問題なく終了しました
```

## バッファの設定

PlexTools Professional で使用するバッファ(キャッシュ)の量に関する設定です。

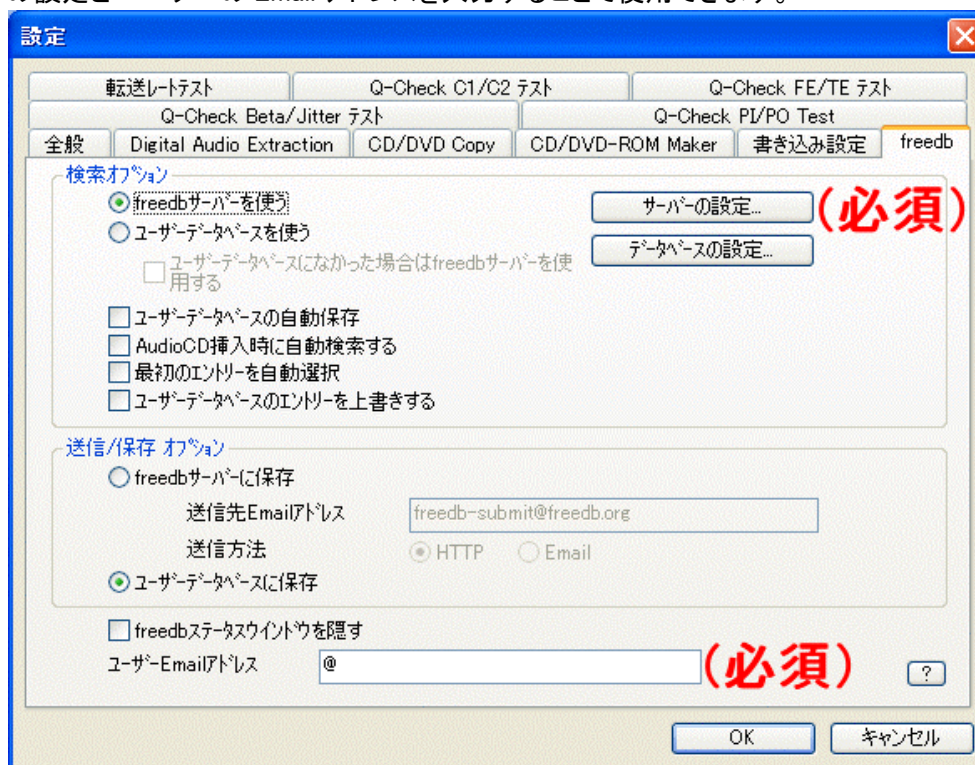


### ・イメージファイル

PlexTools Professional が使用するイメージファイル(一時ファイル)の保存場所を指定する設定です。

### 4. 3) freedb 設定

freedbとは、インターネットに公開されているサーバーにアクセスし、音楽 CD タイトルの情報をダウンロードすることで、ディスクタイトル・トラックタイトル・アーティスト名などの情報を取得できる機能です。freedb で設定した内容は PlexTools Professional の Audio CD Player、Audio CD Maker、Digital Audio Extraction、CD/DVD Copy に反映させ使用できます。サーバーの設定とユーザーの Email アドレスを入力することで使用できます。



#### ・検索オプション

音楽 CD 情報を検索する際の設定です。インターネット上の freedb サーバーや HDD 内に保存しているユーザーデータベースを設定します。

**freedb サーバーを使う** ・ **ユーザーデータベースを使う**

検索するデータベースをインターネット上の freedb にするか、HDD 内のユーザーデータベースにするか選択します。また先にユーザーデータベースを検索し、情報が無かった場合は freedb を検索する設定もできます。

**サーバーの設定** (必須)

freedb で検索するサーバーの設定です。**リストを取得する** ボタンより現在設定されている freedb サーバーから他のサーバーの情報を取得できます。プロキシサーバー (代理サーバー) を使用してアクセスする場合は **Proxy の設定** ボタンより設定を行ってください



#### ユーザーデータベースの自動保存

freedb で検索した情報を自動的にユーザーデータベースに保存する設定です。チェックすると有効になります。

#### AudioCD 挿入時に自動検索する

CD ドライブに音楽 CD が挿入された際に、自動的に設定されたデータベースに対し検索を行う設定です。チェックすると有効になります。

#### 最初のエントリーを自動選択

freedb サーバーには1つの音楽 CD の情報が複数登録されている場合があります。その際に最初に登録されているものを自動で選択しダウンロードする設定です。チェックすると有効になります。

#### ユーザーデータベースのエントリーを上書きする

ユーザーデータベースに保存する際、同一タイトルの音楽 CD は上書きする設定です。チェックすると有効になります。

### ・送信/保存オプション

#### freedb サーバーに保存 ・ ユーザーデータベースに保存

自分で編集したタイトルを freedb サーバーに送信し保存するか、ユーザーデータベースに保存するかを選択する設定です。

#### freedb ステータスウィンドウを隠す

freedb にアクセスする際のステータスウィンドウを非表示にする設定です。チェックすると有効になります。

### ・ユーザーEmail アドレス (必須)

ご使用のメールアドレスを入力してください。freedb を利用する際の必須項目です。



#### Tips3、日本語タイトルが文字化けする場合

初期設定の freedb サーバー ( freedb.freedb.org ) は日本語タイトルには対応しておりません。日本語に対応した freedb サーバーを設定することで日本語タイトルのダウンロードも可能となります。

## 基本的な使用方法の紹介

基本的な使用方法を紹介します。  
各ツール、設定の説明に関しては各種ツールの説明を参照して下さい。



## 5、基本的な使用方法の紹介

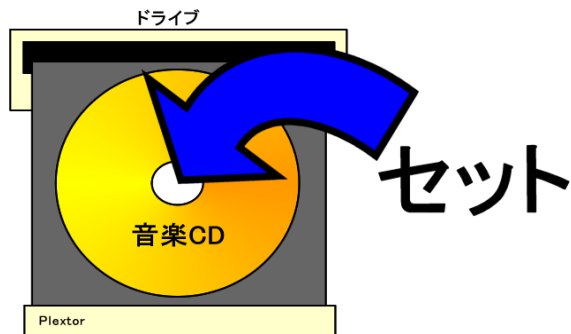
### 5. 1) 音楽 CD をハードディスクに保存する。

音楽 CD の各トラックをハードディスクにファイルとして保存します。

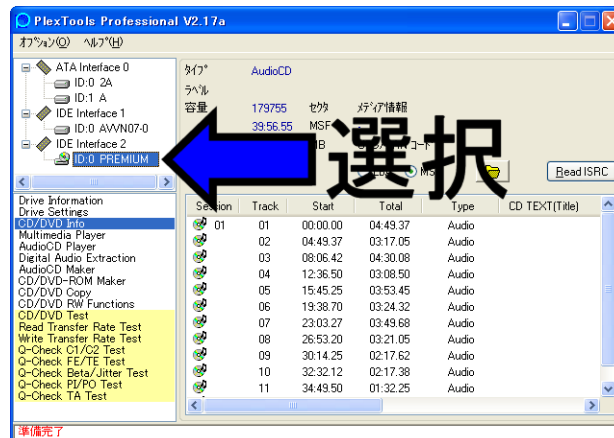
作業は次の手順で行います。

- ①ドライブに音楽 CD を挿入→②ドライブを選択→③Digital Audio Extraction を選択→
- ④保存するトラックを選択→⑤保存先を指定→⑥保存を開始

#### ①ドライブに音楽 CD を挿入

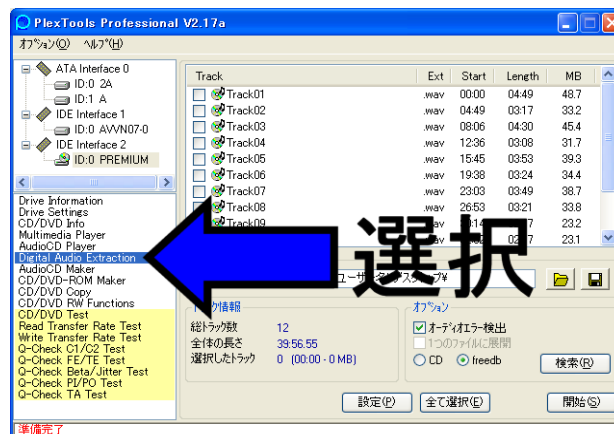


#### ②ドライブを選択

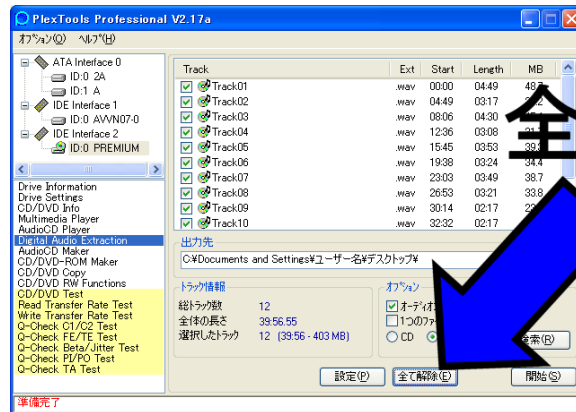


CD プレイヤが自動起動した場合は終了してください。

#### ③Digital Audio Extraction を選択

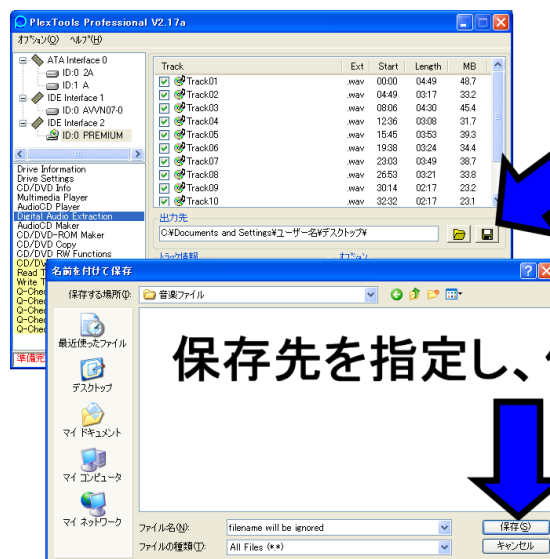


#### ④保存するトラックを選択

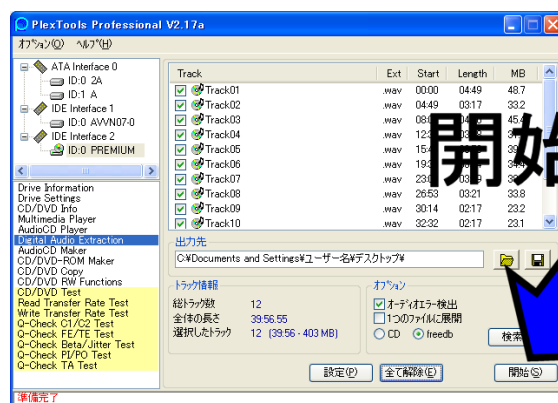


各トラックのチェックボックスをチェックすると個別に選択できます。

#### ⑤保存先を指定



#### ⑥保存を開始



以上の手順でトラックの保存が開始されます。保存が完了すると、指定された保存先に音楽ファイル(初期状態では Wave ファイル)が作成されます。

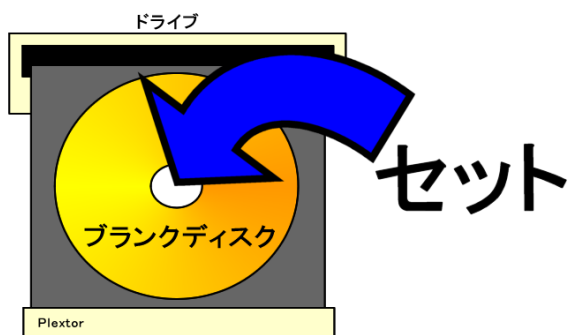
## 5. 2) 音楽 CD を作成する。

HDD に保存されている音楽ファイルより音楽 CD を作成します。

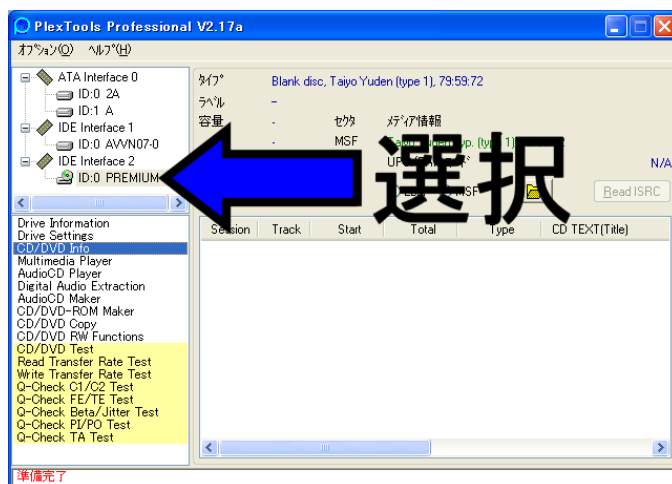
作業は次の手順で行います。

- ①ドライブに空白ディスクを挿入→②ドライブを選択→③AudioCD Maker を選択→
- ④音楽ファイルを登録→⑤CD の作成を開始

### ①ドライブに空白ディスクを挿入



### ②ドライブを選択

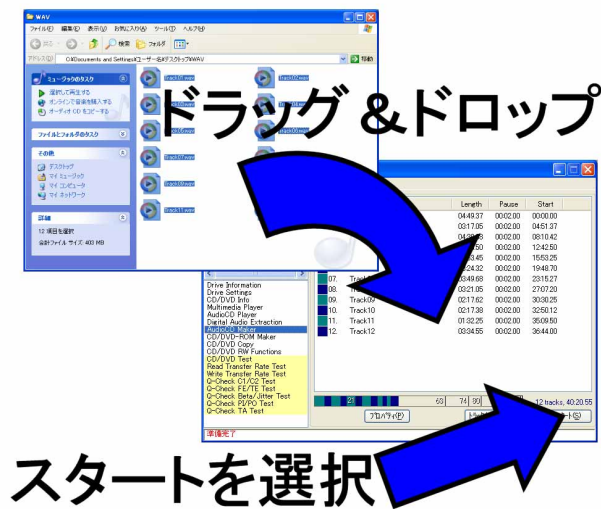


### ③AudioCD Maker を選択



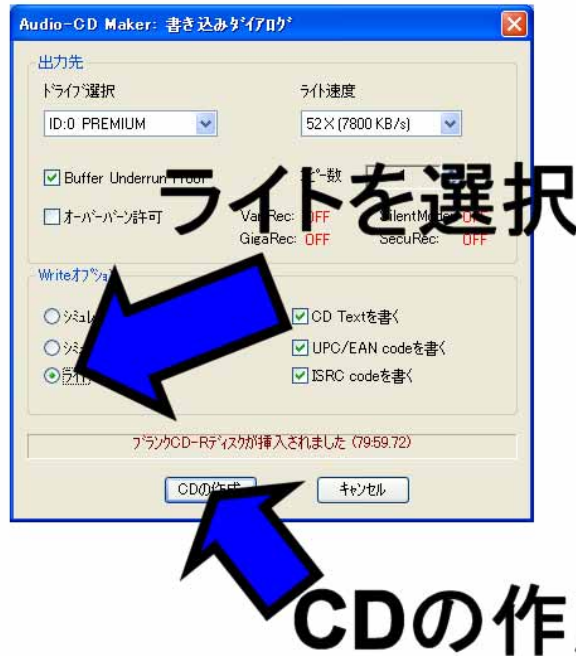
#### ④音楽ファイルを登録

音楽ファイルをエクスプローラより AudioCD Maker にドラッグアンドドロップします。  
ファイルの登録が終わりましたらスタートボタンを押してください。



#### ⑤CD の作成を開始

Write オプションでライトを選択し、CD の作成ボタンを押し音楽 CD の作成を開始します。



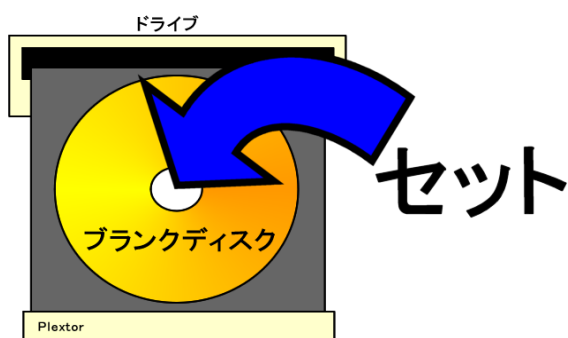
### 5. 3) データ CD を作成する。

HDD 内のデータ(ファイル/フォルダ)よりデータ CD を作成します。

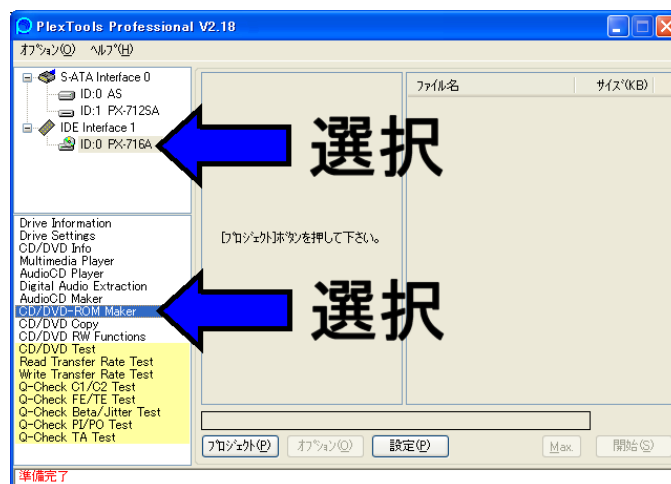
作業は次の手順で行います。

- ①ドライブにブランクディスクを挿入→
- ②ドライブを選択、CD/DVD-ROM Maker を選択→
- ③新規プロジェクトを作成→
- ④データファイルを登録→
- ⑤CD の作成を開始

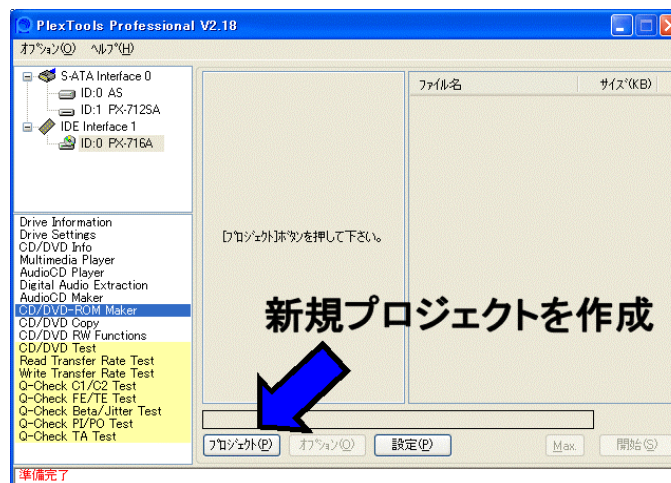
#### ①ドライブにブランクディスクを挿入



#### ②ドライブを選択、CD/DVD-ROM Maker を選択



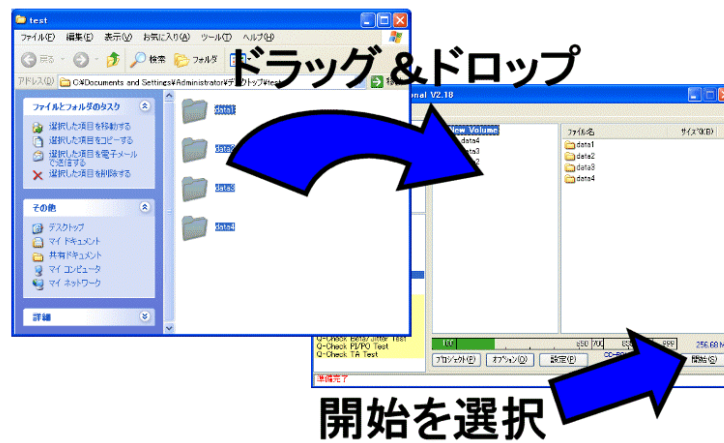
#### ③新規プロジェクトを作成



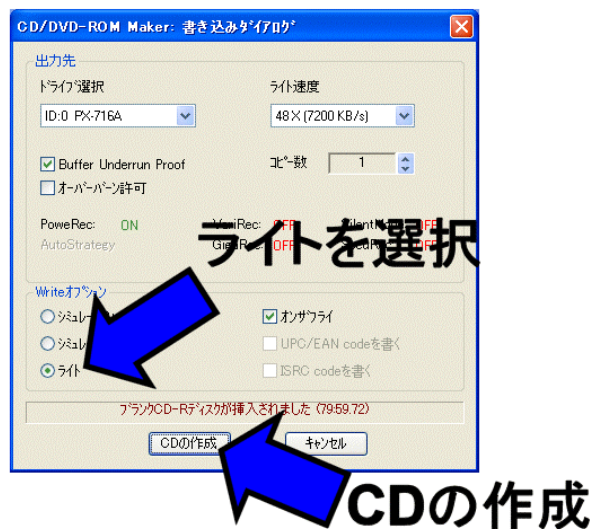


その他の CD-ROM(ISO/UDF)、CD-ROM(UDF)を選択しても問題ありません。

#### ④データファイルを登録



#### ⑤CDの作成を開始

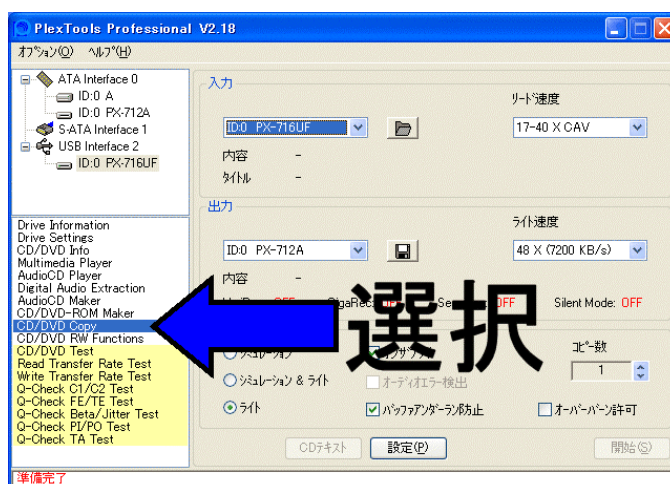


#### 5. 4)CD または DVD をコピーする。

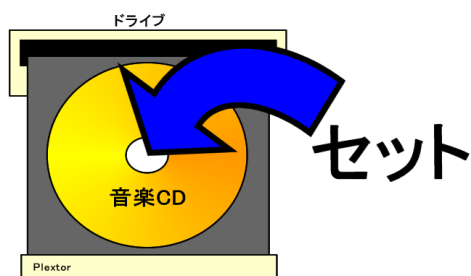
ディスクのコピーを行います。1台のドライブを使用するか、2台のドライブを使用するかで多少作業手順が異なります。作業は次の手順で行います。

- ①CD/DVD Copy を選択→②読み込みドライブを選択、オリジナルのディスクをセット→
- ③書き込みドライブを選択、ブラックディスクをセット→④コピーを開始

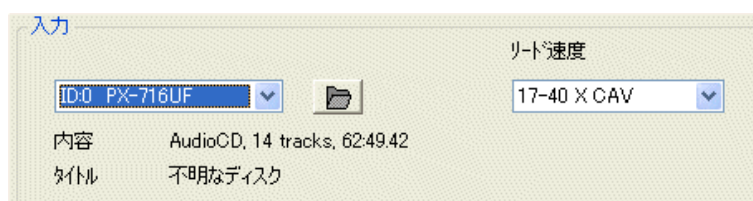
##### ①CD/DVD Copy を選択



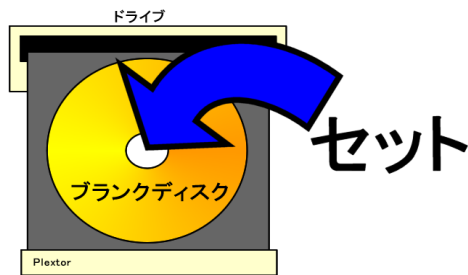
##### ②読み込みドライブを選択、オリジナルのディスクをセット



しばらくすると、以下のようなオリジナルのディスク情報が表示されます。



### ③書き込みドライブを選択、blankディスクをセット



しばらくすると、以下のようなblankのディスク情報が表示されます。



読み込みドライブと書き込みドライブを同じドライブに選択した場合は、オリジナルのディスクをイメージとして HDD に保存し、途中でディスクをblankディスクに入れ替え書き込みを開始します。

オリジナル、blankのディスク情報が表示されない場合はデバイスウィンドウにて読み込みに指定したドライブ、書き込みに指定したドライブをそれぞれダブルクリックしてください。

### ④コピーを開始

オプションでライトを選択し、開始ボタンを押しコピーを開始します。



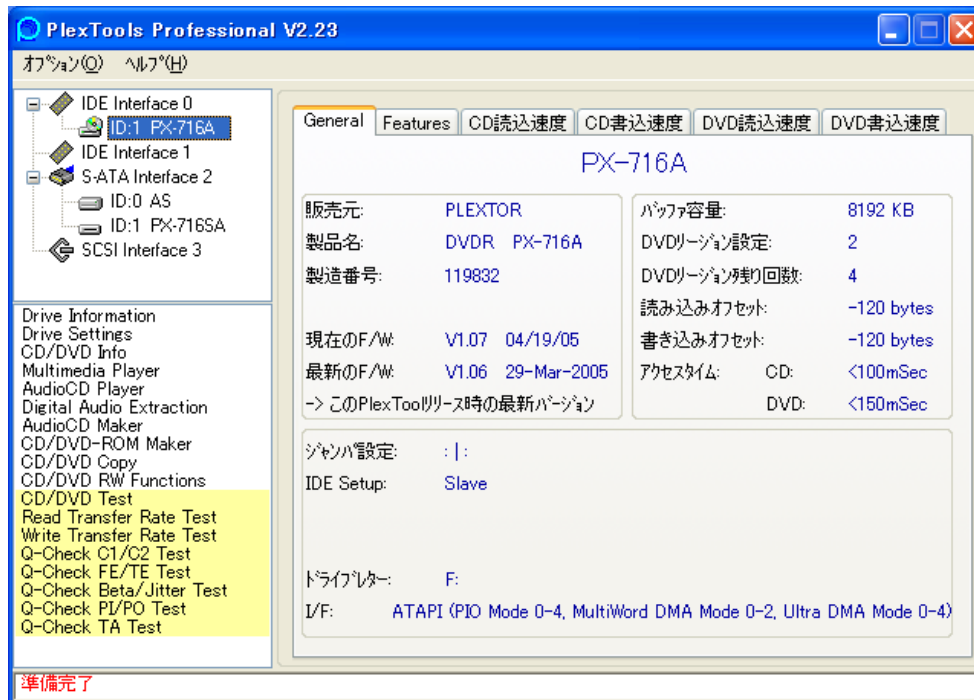


## 各種ツールの説明

各種ツールの紹介、説明を行います。

## 6、Drive Information

Drive Information は Plextor 製ドライブの情報を表示するツールです。General、Features、CD 読込速度、CD 書込速度、DVD 読込速度、DVD 書込速度の6つのタブで構成されます。



### 6. 1) General 情報タブ

接続されているドライブの以下の情報が表示されます。

販売元	選択されているドライブのメーカー名
製品名	ドライブの製品名
製造番号	ドライブのシリアルナンバー(下6桁のみ表示)
現在の F/W	ドライブの現在のファームウェアバージョン
最新の F/W	PlexTools Professional リリース時の ドライブ最新ファームウェアのバージョン
バッファ容量	ドライブのバッファ容量
DVD リージョン設定	ドライブに設定されている DVD のリージョン(地域識別コード)
DVD リージョン残り回数	ドライブのリージョン設定を変更できる残り回数
読み込みオフセット	ドライブの読み込み時のオフセット値
書き込みオフセット	ドライブの書き込み時のオフセット値
アクセスタイム	ドライブの CD/DVD のランダムアクセスタイム
ジャンパ設定	ドライブの背面から見たジャンパ設定のイメージ
IDE Setup	IDE のマスター、スレーブの情報
ドライブレター	Windows 上でのドライブレター
I/F	ドライブのインターフェース情報

## 6. 2) Features 情報タブ

	Read	Write	Other Read Features	
CD-R	✓	✓	C2 Errors	✓
CD-RW	✓	✓	VideoCD	✓
DVD-ROM	✓		CD+G	✓
DVD-RAM			CD TEXT	✓
DVD-R	✓	✓	Mount Rainier (CD)	
DVD-RW	✓	✓	Buffer Underrun Proof	✓
DVD+R	✓	✓		
DVD+RW	✓	✓		
DVD+R DL	✓	✓		
DVD-R DL	✓	✓		

ドライブがサポートしているメディアの種類一覧が表示されます。

## 6. 3) CD 読込速度情報タブ

Mode 1	Mode 2	Audio CD	CD-RW
(*)20-48X CAV			
17-40X CAV	17-40X CAV	17-40X CAV	17-40X CAV
14-32X CAV	14-32X CAV	14-32X CAV	14-32X CAV
10-24X CAV	10-24X CAV	10-24X CAV	10-24X CAV
8X CLV	8X CLV	8X CLV	8X CLV
4X CLV	4X CLV	4X CLV	4X CLV

Note : CD-RWに記録されたAudioCDは17-40Xで読むことは出来ません。  
 (\*)20-48XのCAV/モードはSpeedReadの設定が必要です。  
 CAVの場合、68:00:00の位置で最高速度に到達します。

CD の読み込み速度一覧が表示されます。

## 6. 5) DVD 読込速度情報タブ

DVD-ROM	DVD+/-R	DVD+/-RW
(*)6-16X CAV		
5-12X CAV	5-12X CAV	5-12X CAV
3-8X CAV	3-8X CAV	3-8X CAV
2-5X CAV	2-5X CAV	2-5X CAV
2X CLV	2X CLV	2X CLV

Note : DVD-Videoは騒音や振動を抑えるため再生速度は2Xとなります。  
 (\*)DVD一層メディアにのみ適用されます。  
 DVD+R DLは3-8X CAV, 2-5X CAV, 2X CLVで読むことができます。  
 DVD-R DLは3-8X CAV, 2-5X CAV, 2X CLVで読むことができます。

DVD の読み込み速度一覧が表示されます。

## 6. 4) CD 書込速度情報タブ

CD-R	CD-RW	HS CD-RW	US CD-RW
21-48X CAV			
21-32X P-CAV			20-24X Z-CLV
16X CLV		10X CLV	
8X CLV			
4X CLV	4X CLV		

Note :

CD の書き込み速度一覧が表示されます。

## 6. 6) DVD 書込速度情報タブ

DVD+R	DVD+RW	DVD-R	DVD-RW
7-18X CAV		7-18X CAV	
6-16X CAV		6-16X CAV	
6-12X CAV		6-12X CAV	
			6X CLV
6-8X CAV	6-8X P-CAV	6-8X CAV	4X CLV
6X CLV	6X CLV	6X CLV	
4X CLV	4X CLV	4X CLV	2X CLV
2.4X CLV	2.4X CLV	2X CLV	1X CLV

Note : DVD+R DLは6-10X P-CAV, 6-8X CAV, 6X CLV, 4X CLV, 2.4X CLVで書くことができます。  
 DVD-R DLは6X CLV, 4X CLV, 2X CLVで書くことができます。

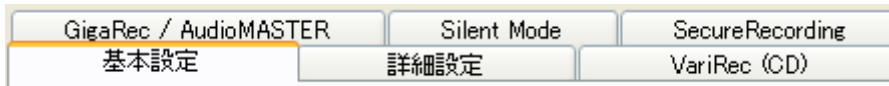
DVD の書き込み速度一覧が表示されます。

PX-760A の情報の一例です。

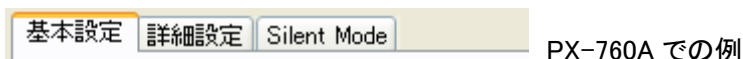
## 7、Drive Settings

ドライブに対し各種設定を行います。基本設定、詳細設定、VariRec、GigaRec、Silent Mode、SecureRecording のタブで構成され、ドライブまたは現在挿入されているメディアの種類によって表示されるタブが異なります。(GigaRec、Silent Mode、SecureRecording は Plextor 製ドライブの Premium 機能に対応した一部のドライブにのみ表示されます。)

・CD 挿入時



・DVD 挿入時



### 7. 1) 基本設定タブ

ディスクの読み込み速度やアナログオーディオ出力などのドライブの基本的な設定です。



#### ・ディスク速度

##### CD リード速度設定

現在の CD 読み込み速の設定です。ドロップダウンメニューよりドライブの対応した CD 読み込み速度が表示されます。

##### DVD リード速度設定

現在の DVD 読み込み速度の設定です。ドロップダウンメニューよりドライブの対応した DVD の読み込み速度の設定ができます。グレーアウトしていて選択できない場合は DVD を挿入すると選択できるようになります。

##### スピンドアウンまでの時間

ドライブのターンテーブルが回転して待機している時間の設定です。

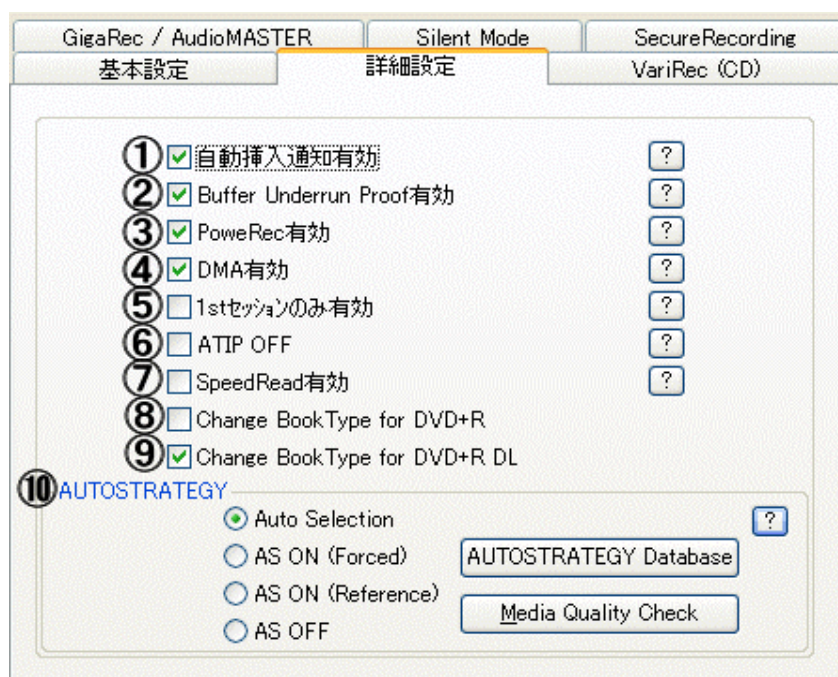
## ・オーディオ出力設定

SPDIF 及びアナログオーディオ出力の設定です。本設定でアナログオーディオ出力をコントロールするには CD-ROM デバイスが Windows の音楽 CD 再生の設定でアナログになっている必要があります。またドライブのリアパネルのオーディオコネクタと、サウンドボードまたはステレオアンプが接続されている必要があります。本機能はサウンドボード自体を制御するのではなく、サウンドボードへのオーディオデータを制御します。ボリュームコントロールバーをクリックすることで、音量の調節を行います。音割れが起きない限りは、設定する必要はありません。また、チャンネル同期チェックボックスを外すと、左右それぞれの出力レベルを調整できます。

外付け/SATAドライブには対応していません。

## 7. 2) 詳細設定タブ

Plextor 製ドライブ独自の機能など、ドライブに関する詳細設定です。



### ①、自動挿入通知有効

ディスク挿入時の自動再生に関する設定です。チェックすると自動再生が有効になります。設定した内容を反映させるためには Windows の再起動が必要となります。

### ②、Buffer Underrun Proof 有効

書き込み時にドライブへのデータの転送が途切れてしまいエラーになってしまうバッファアンダーランエラーを防止する設定です。チェックすると有効になります。

### ③、PoweRec 有効

ドライブがメディアに合った書き込み速度を判断し、書き込み開始時または書き込み時に必要に応じて書き込み速度を調整する設定です。チェックすると有効になります。例えば高速書き込み中にドライブがメディアに対し品質上、高速書き込みは好ましくないと判断した場合は速度を落として書き込みます。しかし本設定を無効(チェックボックスを外す)にすることで、任意の最高速度で書き込むことが可能となります。但しこの場合書き込み品位が低下し、読み出しができないディスクが作成される場合が

あります。また本設定を無効にした場合でも PlexTools Professional 起動時に設定が有効になります。

#### ④、DMA 有効

ドライブのデータ転送方式を高速の DMA モードにする設定です。チェックすると DMA モードになり、チェックボックスを外すことで低速の PIO モードになります。設定した内容を反映させるためにはシステムの再起動が必要となります。外付け/SATA ドライブに対しては設定できません。

#### ⑤、1st セッションのみ有効

ドライブがマルチセッションディスクのファーストセッションのみ読み出すモードになる設定です。チェックすると有効になります。但しデータディスクなどで追記したデータも読めなくなります。

#### ⑥、ATIP OFF

ATIP とは CD-R メディアの最内周に記録されているメディアの製造元・メディアの種類といった情報のことで、ATIP OFF とは DAO(Disc At Once)で記録された CD-R メディアに対しドライブが ATIP 情報を取得しないモードになる設定です。チェックすると有効になります。

※⑤、⑥の設定は保存できません。ドライブの電源を再投入した場合や、PC の再起動を行なった時点で設定はクリアされます。

#### ⑦、SpeedRead 有効

CSS プロテクト付きの DVD-Video ディスクは、振動や騒音により DVD の視聴の妨げになるのを考慮して、ドライブの初期の状態では2xの速度制限がかけられています。

また CD に対しては高速回転によるディスクの破損を防ぐために40xの速度制限がかけられています。それらの速度制限を解除し、さらに高速な速度でディスクを読むことが可能になる設定です。チェックすると有効になります。

#### ⑧、Change Book Type for DVD+R ⑨、Change Book Type for DVD+R DL

DVD+R、DVD+R DL のブックタイプを変更する設定です。チェックすると有効になります。設定を有効にすることで一部のプレイヤーで再生互換性が向上します。

## ⑩、AUTOSTRATEGY

AUTOSTRATEGY に関する設定です。チェックすると有効になります。AUTOSTRATEGY とは、DVD±R メディアの記録特性を確認し、ドライブの設定に無い未知のメディアでも最適な記録設定をドライブ自身が作成し、修正する機能です。既知の DVD±R メディアのロットごとの記録特性ばらつきにも対応できます。また作成した記録特性は本体内のメモリに最大 31 件まで、データベースとして保存することが可能です。PoweRec と併用することで、セットされたメディアに対して記録品位を保ちながら最適な速度設定で書き込みを行います。次の4種類よりモードの選択が可能です。

### Auto Selection

AUTOSTRATEGY データベースまたはファームウェアのライトストラテジを使用します。そのライトストラテジが最適でない場合には、AUTOSTRATEGY 機能によって新たなライトストラテジを作成し、AUTOSTRATEGY データベースに保存します。

### AS ON (Forced) ※PX-755A/PX-760A シリーズのみ

書き込み時に必ずライトストラテジを作成し AUTOSTRATEGY データベースに登録します。AUTOSTRATEGY データベースに登録されているライトストラテジは上書きされます。

### AS ON (Reference) ※PX-755A/PX-760A シリーズのみ

AUTOSTRATEGY データベースのライトストラテジを使用します。AUTOSTRATEGY データベースにライトストラテジが見つからない、またはそのストラテジが最適でない場合には、ファームウェアのライトストラテジを使用します。

### AS OFF

AUTOSTRATEGY 機能が OFF になります。ファームウェアのライトストラテジを使用します。



### 注意3、AUTOSTRATEGY について

メディアやドライブの機種にもよりますが、通常 AUTOSTRATEGYOPC(最適な記録設定を導き出し、ドライブに設定を保存する)動作は 30 秒~4 分程度の時間を必要とします。

AUTOSTRATEGY 動作時はドライブの LED インジケータ表示は黄色、緑色、橙色の交互点灯となります。

AUTOSTRATEGY が有効な場合、書き込み速度はメディアの対応(推奨)速度が優先されます。(8x メディアは 8x、16x メディアは 16x まで)

メディアの反りなどの機械特性が悪いと判断されたメディアに対して、AUTOSTRATEGY は行われません。その際はドライブのファームウェアの初期設定で書き込みが行われます。

ドライブが最高速書き込み 16x(PX-716A)、18x(PX-760A)を許可しているメディアに対して最高速が指定された場合には、AUTOSTRATEGY は行われません。

## AUTOSTRATEGY Database



ドライブ内のメモリに登録されている AUTOSTRATEGY によって作成された、ストラテジの一覧が表示されます (AUTOSTRATEGY で作成された、各メディアの最高速のストラテジが表示されます)。最大 31 件まで登録することが可能です。通常はこの記憶領域がいっぱいになった場合には、使用頻度の少ないメディアのストラテジから自動で削除されていきますが、AUTOSTRATEGYDatabase にて手動で削除することも可能です。また各メディアに対して個別に AUTOSTRATEGY を無効にすることもできます。ストラテジリストの保存も可能ですが、ストラテジ自体が保存されるわけではありません。また PX-760A シリーズは手動でライトストラテジの作成も可能です。

### ライトストラテジの作成 ※PX-755A/PX-760A シリーズのみ

#### ・クイックモード (OPC エリアをライトします)

OPC エリアのみライトを行いますので、メディアは実行後も使用することが可能です。ですが登録されるストラテジは CAV 書き込みの最低速のものが登録されます (高速のストラテジに関しては予測設定を求めますが、実際の補正は行われません)。

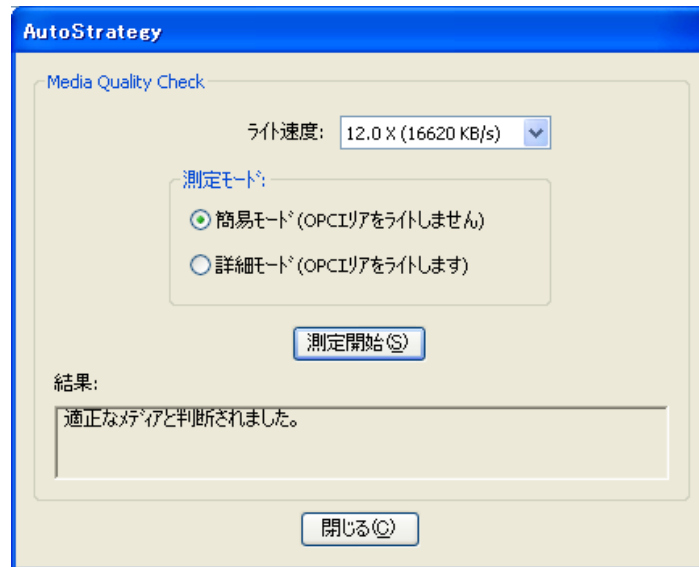
#### ・フルモード

データエリアも使用し、複数の速度のストラテジを登録することが出来ます (データベースに表示されるのは最高速のみです)。実行後はメディアを再使用することは出来ません。

実行するメディアのライトストラテジが既に登録されている場合は、上書き/新規に追加のどちらかを選択することが可能です。実行ボタンを押すことで、ライトストラテジの作成を開始します。



## Media Quality Check



指定したドライブの書き込み速度に対して、記録前のメディアの品質が適正であるか AUTOSTRATEGY チェックを行い確認が可能です。

### 測定モード ※PX-755A/PX-760A シリーズのみ

- ・簡易モード（OPC エリアをライトしません）  
OPC エリアのライトを行わず、メディアの反りと TE/FE の確認を行います。
- ・詳細モード（OPC エリアをライトします）  
簡易モードに追加して、AUTOSTRATEGYOPC(ライトストラテジの作成のクイックモードと同等の動作)の確認を行います(AUTOSTRATEGY Database にストラテジは登録されません)。



### 注意4、書き込み品位に影響を与える恐れのある設定について

Buffer Underrun Proof、PowerRec、DMA、AUTOSTRATEGY 等の設定は書き込み品位に影響を与える恐れがあります。予め各機能をご理解いただき、お客様の責任において設定してください。(通常は有効になっています)

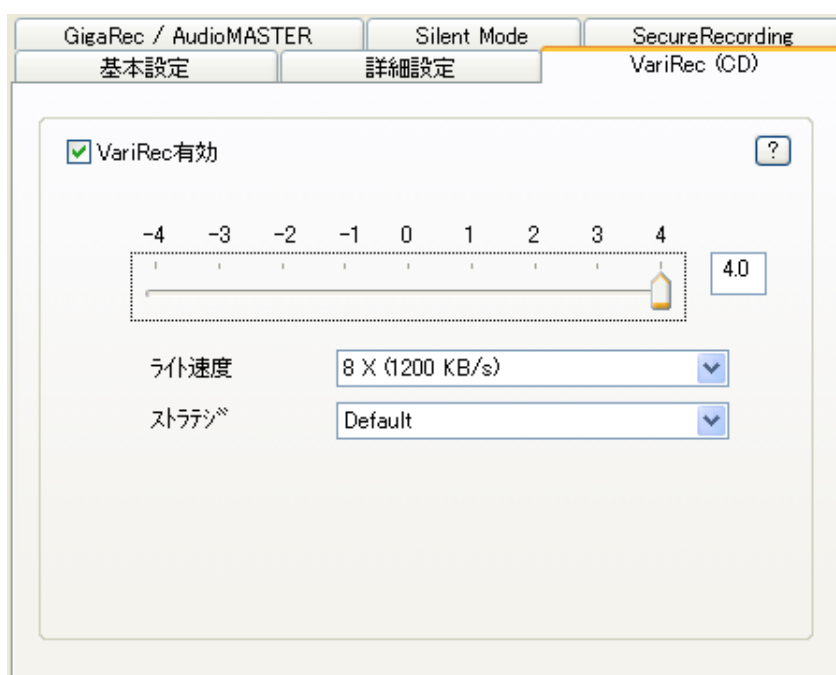
### 7. 3)VariRec タブ

VariRecとは、CD/DVD ディスクを通常のライトパワーよりも強めまたは弱めで書き込む機能です。ライトパワーを変化させることにより、ピックアップのレーザーが劣化し始めた古いCD-ROM/DVD-ROMドライブなどでも、より読み出しやすいCD/DVD ディスクを作成できます。

また、特に音楽 CD 作成を行う際、ライトパワーの変更の他にメディア色素ごとのライトストラテジ(フタロ系4種類、シアニン系1種類、アゾ系1種類)を用意しております。これによりフタロ系ディスクに対してもシアニン系のライトストラテジで書き込むことが可能となり、音質変化のバラエティを広げることが可能となりました。VariRecを使うことで、CD/DVD メディアメーカーごとの音色の癖をユーザーの好みによって「高音・低音の強調」「音色の硬め・軟らかめ」といった傾向の調整を行う事が可能です。本ストラテジはデータ CD に対しても可能です。

VariRec はライトワンスメディア(R 系メディア)に対してのみ利用できます。リライタブルメディア(RW 系メディア)に対しては利用できません。

※DVD±R の VariRec 書き込みは PX-716A シリーズのみ使用可能です。



#### VariRec 有効

チェックすると VariRec が有効になります。

#### レーザーパワー設定用スライダー

VariRec のレーザーパワーの設定です。左右に動かすことで、-4(弱め)→0(標準)→4(強め)の±4 範囲内で設定が可能です。

#### ライト速度

VariRec の書き込み速度に関する設定です。選択できる書き込み速度は以下のように制限されます。

- ・CD (8 倍速以下)
- ・DVD+R (4 倍速、2.4 倍速)
- ・DVD-R (4 倍速、2 倍速)

## ストラテジ

VariRec のストラテジに関する設定です。以下よりストラテジを設定できます。

標準状態 Default

CD-R メディア Azo、Cyanine、Phthalocyanin A・B・C・D の計 6 種類

DVD±R メディア Strategy1～8 の計 8 種類



**注意5**、VariRec で作成したディスクの読み込みに関して

VariRec で書き込んだディスクが再生できない場合は、VariRec=OFF または VariRec=0(ゼロ)にして再度作成をしてください。

## 7. 4) GigaRec / AudioMASTER タブ

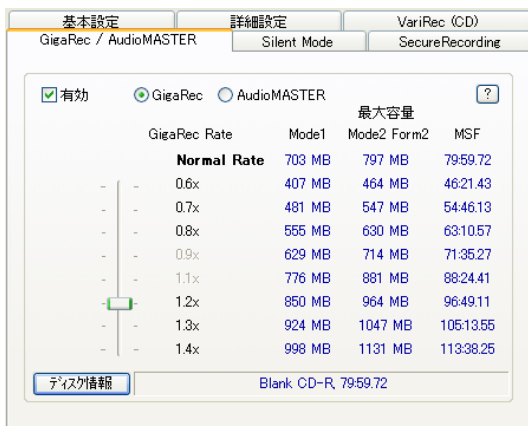
GigaRec とは、CD-R メディアの容量を、通常の容量の 0.6 倍から 1.3 倍まで変更させ記録できる機能です。(Premium 及び Premium2 は 1.4 倍まで設定可能)

例えば 700MB の CD-R メディアに対し 1.3 倍で記録することで、924MB まで書き込むことが可能になります。(Mode-1 記録時)

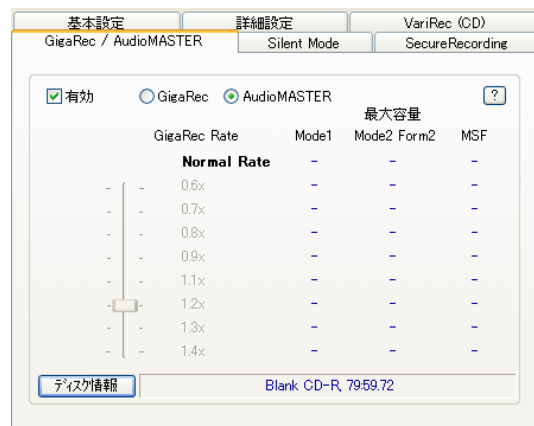
CD-R メディアにはウォブルグループと呼ばれる案内溝があり、その溝に従ってデータの書き込みを行います。また、メディアの最内周にはメディアメーカー名・メディア型番・メディアの特性最大記憶容量等の情報が記録されています。(ATIP 情報) この情報を元にドライブは OPC (試し書き) を行い、案内溝に従ってデータの書き込みを行います。この情報を無視し線速度を調整し記録密度を変化させることにより、記憶容量を調整可能となります。

AudioMASTER™とは、書き込み時の線速度を規格上限の 1.4m/sに上げることにより、音質、互換性、保存性を向上させた書き込みを行なう機能です。メディアはCD-Rディスクのみ、書き込み方式はDAO、書き込み速度は 4 倍速で使用することができます。

※AudioMASTER™はPremium2 でのみ使用可能です。



GigaRec 有効時



AudioMASTER 有効時

※AudioMASTER™は、日本国内におけるヤマハ株式会社の登録商標です。

### GigaRec 有効

チェックすると GigaRec が有効になります。

### AudioMASTER 有効

チェックするとAudioMASTER™が有効になります。

### GigaRec Rate 設定用スライドバー

GigaRec の倍率に関する設定です。上下に動かすことで0.6 倍から 1.4 倍まで設定できます。

。各ドライブの対応倍率は以下のようになります。

	0.6x	0.7x	0.8x	0.9x	1.1x	1.2x	1.3x	1.4x
Premium	○	○	○	×	×	○	○	○
Premium2	○	○	○	○	○	○	○	○
PX-712A / PX-716A	○	○	○	×	×	○	○	×
PX-755A / PX-760A	×	○	○	○	○	○	○	×

PlexTools Professional は Mode-2 書き込みに対応しておりません。Mode-2 設定でディスクを作成する場合は PlexTools Professional で GigaRec の設定をし、その後で他のアプリケーション使用し Mode-2 設定で書き込みを行ってください。

### ディスク情報

現在挿入されているディスク情報が表示されます。GigaRec で作成されたディスクは GigaRec Rate 情報も表示されます。



#### Tips4、GigaRec 互換性について

一般に Normal Rate (1.0 倍) から離れるほど、その他のドライブとの互換性は低下します。また音楽 CD に関しては99分を超えた場合は通常の民生の音楽プレーヤでは再生できなくなります。(Windows 上では再生可能です)



#### 注意6、GigaRec 書き込みについて

本機能で作成したディスクは本機でのみ使用してください。その他のドライブ等での読み出しについては保証しかねます。

GigaRec 機能は以下の条件で使用できます。

メディア: CD-R ディスク

書き込み方式: ディスクアットワンス

書き込み速度: 8 倍速以下。

バッファアンダーランループは無効になりますので、バッファアンダーランが発生した場合、書き込みが無効になります。

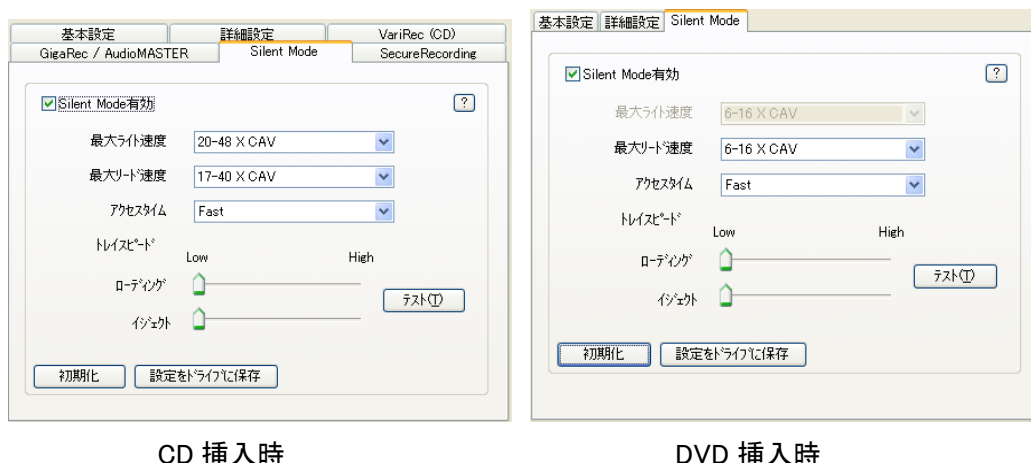
GigaRec、VariRec はディスクをイジェクトすることで設定が無効になります。

## 7. 5) Silent Mode タブ

Silent Mode とは、ドライブの以下 3つの速度に関して制限する機能です。

- ・最大読み込み/書き込み速度
- ・アクセスタイム
- ・トレイのイジェクト、ローディング速度

これらの設定を行うことで、ドライブ内の不揮発性メモリにその変更内容が保存され、PlexTools Professional が起動していなくても(OS 起動時等)、設定した内容でドライブが動作するため、静穏化を図ることができます。ディスク回転音が気になる場合などに有効です。



CD 挿入時

DVD 挿入時

### Silent Mode 有効

チェックすると Silent Mode が有効になります。

### 最大ライト速度

最高速の書き込み速度に制限をかける設定です。**DVD には対応していません。**

### 最大リード速度

最高速の読み込み速度に制限をかける設定です。

### アクセスタイム

アクセスタイムの設定です。ドライブのレーザーを発行するピックアップユニットがディスクの内周から外周、外周から内周に移動する速度を Slow と Fast の2段階で設定できます。標準の状態では Fast に設定されています。Slow に設定するとディスクアクセスは静穏化されますが、読み込み速度は遅くなります。

### トレイスピード

トレイスピードの設定です。トレイ開閉速度を、スライドバーを動かすことでそれぞれ設定できます。**ローディング**:トレイ挿入時、**イジェクト**:取り出し時の調整ができます。また**テスト**ボタンを押すと、設定したトレイ開閉速度を確認できます。

### 初期化

設定した内容をドライブ出荷状態に戻す設定です。**初期化**ボタンを押すと、設定が工場出荷状態に戻ります。**PlexTools Professional をアンインストールする場合は、必ず初期状態に戻してアンインストールしてください。**

### 設定をドライブに保存

設定した内容をドライブ内部の不揮発性メモリに記憶させる設定です。

**設定をドライブに保存**を押すことで設定をメモリに記憶させます。これにより PlexTools Professional が起動していない環境(システム起動時など)でも、設定した内容でドライブが動作します。

## 7. 6) SecureRecording タブ

SecureRecording とは、ディスクにパスワードを設定することで、CD のファイルが Windows のエクスプローラ上に表示されなくなり、パスワードを知っているユーザーのみが、そのデータを閲覧できるデータガード機能です。また、読み出しについては書き込み時に使用した PlexTools Professional または SecuViewer (Plextor Web サイトからダウンロード可能) にパスワードを入力することで、Plextor 社製 Premium 機能搭載ドライブ及びその他のドライブでそのディスクを読み出すことが可能となります。



### ・プロテクト設定

SecureRecording のパスワードに関する設定です。**パスワード**、**再入力(確認)**の入力欄に同じパスワードを入力します。半角英数のみ入力してください。また大文字と小文字も区別されます。

### プロテクト有効

SecureRecording を有効にする設定です。プロテクト設定でパスワードを入力し、**プロテクト有効**ボタンを押すと、SecureRecording モードが有効になります。SecureRecording モードは**プロテクトの状態**の表示で確認できます。

表示: **SecuRec ON** または **SecuRec OFF**

### ディスク情報

現在挿入されているディスク情報が表示されます。ディスクが SecureRecording で保護されたディスクであるか、ディスク情報を確認できます。

- ・通常のディスク 表示: disc is not protected
- ・SecureRecording で作成されたディスク 表示: disc is protected



## 注意7、SecureRecording について

SecureRecording 機能は以下の条件で使用できます。

メディア: CD-R ディスク

書き込み方式: ディスクアットワンス

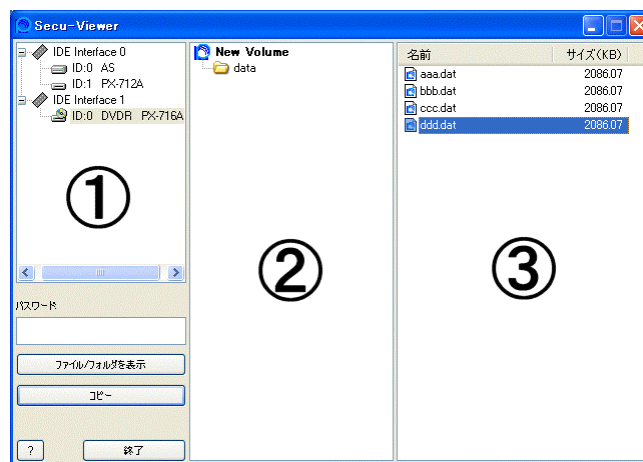
ファイルシステム: ISO9660

UDF ファイルシステムには対応していません。

パスワードを忘れた場合はデータを読み込むことができなくなります。

## 7. 7) SecuViewer

Plextor ホームページより SecuViewer をダウンロードし、SecuViewer でディスクの内容を表示することで、その他のドライブでもディスクを読み込む事ができます。(読み込む際はパスワードが必要です)



①デバイスウィンドウ、②フォルダ階層ウィンドウ、③ファイル表示ウィンドウの3つのウィンドウと各種ボタンで構成されます。

### ①デバイスウィンドウ

接続されている機器が表示されます。SecureRecording でプロテクトをかけたディスクを挿入し、ドライブを選択してください。

### ②フォルダ階層ウィンドウ

ディスク内のフォルダの階層がツリー状に表示されます。

### ③ファイル表示ウィンドウ

ディスク内、フォルダ内のファイルが表示されます。

#### パスワード

SecureRecording のパスワードを入力します。

#### ファイル/フォルダを表示

パスワードを入力し、**ファイル/フォルダを表示** ボタンを押すと、ディスクの内容が表示されます。

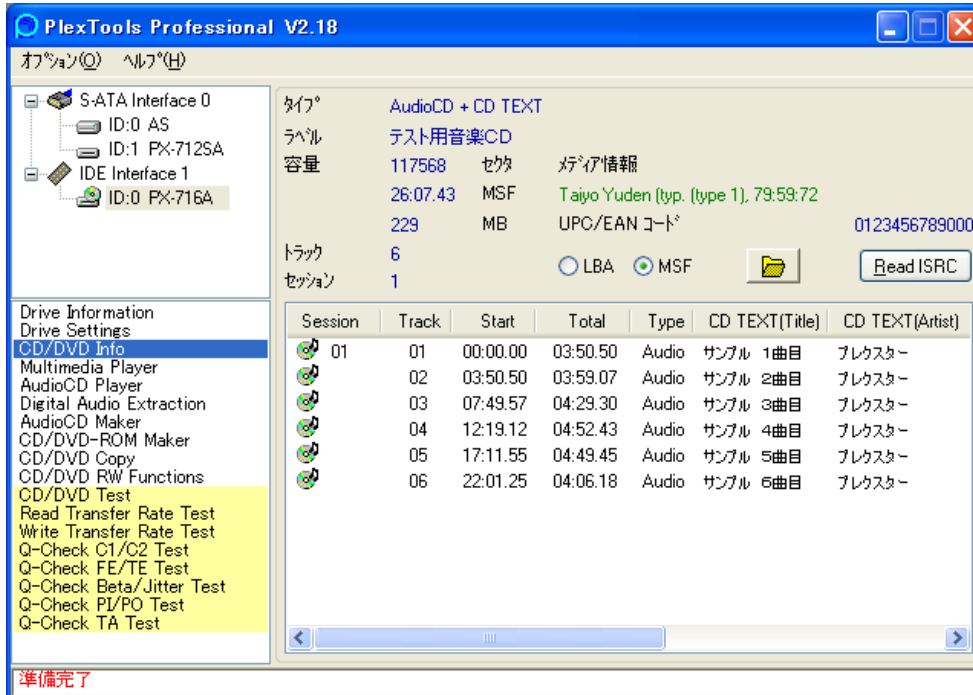
#### コピー

ファイル表示ウィンドウに表示されているフォルダ/ファイルを選択して**コピー** ボタンを押すと、コピー先の選択ウィンドウが表示されます。コピー先を指定することでコピーが開始されます。

## 8、CD/DVD Info

ドライブに現在挿入されている、ディスクの情報を確認できる機能です。CD 挿入時と DVD 挿入時ではレイアウトが異なります。

### CD 挿入時 (CD-TEXT 入り音楽 CD の場合)



#### ・タイプ

ディスクフォーマットが表示されます。(CD-ROM、AudioCD、VideoCD、CDEExtra など)

#### ・ラベル

ディスクのボリュームラベルが表示されます。これは Windows のエクスプローラ上に表示されるディスクラベルと同じものです。CD-TEXT 入り音楽 CD の場合はディスクのタイトル名が表示されます。

#### ・容量

記録されているディスク容量が総セクタ数、MSF (総時間)、バイト数、それぞれの形式で表示されます。

#### ・トラック

トラック総数が表示されます。また下部詳細ウィンドウの表示形式を **LBA**、**MSF** で切り替えることもできます。

- ・LBA (Logical Block Addressing) : セクタの通し番号で表示されます。

- ・MSF : Minute(分)、Second(秒)、Frame(フレーム)の時間情報で表示されます。

#### ・セッション

セッション総数が表示されます。

#### ・メディア情報

CD-R/RW ディスクの場合は、そのメディアの製造元/メディアの種類などの ATIP 情報が表示されます。



・UPC/EAN コード

ディスクのカタログコード(UPCコード:Universal Product Code、EAN:European Article Number)が表示されます。これらは主にプレスディスクに記録されています。

Read ISRC

Read ISRC ボタンを押すと、各トラックに記録されている ISRC(国際標準記録コード)を読み取ることができます。

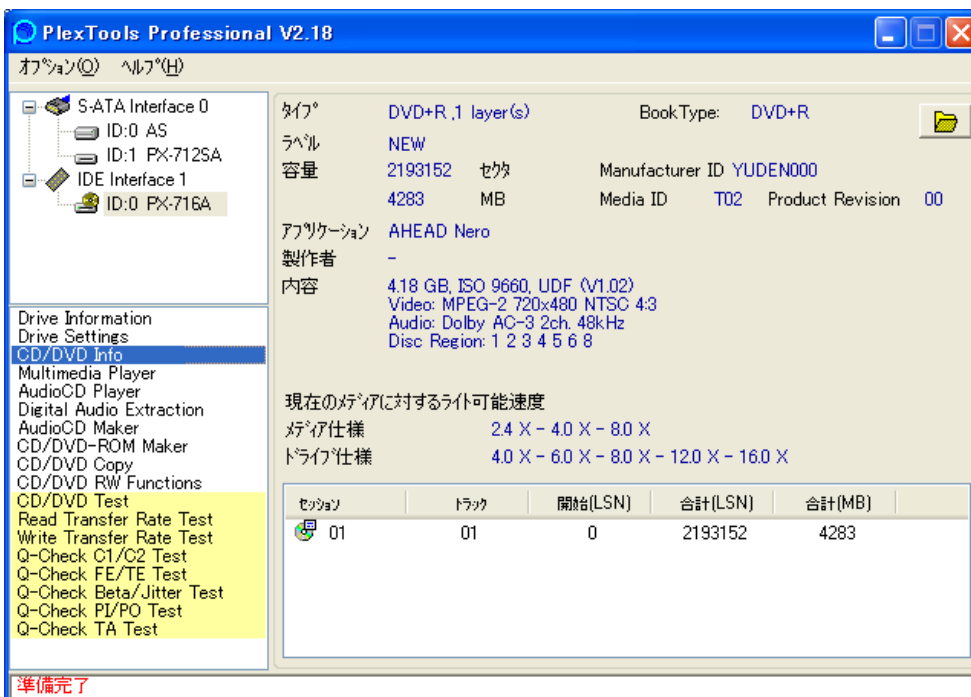
詳細情報のウィンドウには以下の情報が表示されます。

Session	Track	Start	Total	Type	CD TEXT(Title)	CD TEXT(Artist)	Copy Permitted	Pre Emphasis	Channels	ISRC
01	01	00:00.00	03:50.50	Audio	サンプル 1曲目	フレクスター	No	No	2	AAA000000001
	02	03:50.50	03:59.07	Audio	サンプル 2曲目	フレクスター	No	No	2	AAA000000002
	03	07:49.57	04:29.30	Audio	サンプル 3曲目	フレクスター	No	No	2	AAA000000003
	04	12:19.12	04:52.43	Audio	サンプル 4曲目	フレクスター	No	No	2	AAA000000004
	05	17:11.55	04:49.45	Audio	サンプル 5曲目	フレクスター	No	No	2	AAA000000005
	06	22:01.25	04:06.18	Audio	サンプル 6曲目	フレクスター	No	No	2	AAA000000006

- ・Session   セッション番号
- ・Track    トラック番号
- ・Start   トラックの開始位置
- ・Total   トラックのサイズ
- ・Type    トラックのタイプ
- ・CD TEXT(Title)                               CD-TEXT のトラックタイトル
- ・CD TEXT(Artist)                              CD-TEXT のトラックアーティスト
- ・Copy Permitted                               コピー許可
- ・Pre Emphasis                                 プリエンファシス
- ・Channels                                      オーディオのチャンネル数
- ・ISRC   ISRC コード

表示される内容はディスクの種類によって異なります。

DVD 挿入時



・**タイプ**

ディスクのメディアの種類(DVD-ROM、DVD-R など)、レイヤ数が表示されます。

・**ラベル**

ディスクのボリュームラベルが表示されます。これは Windows のエクスプローラ上に表示されるディスクラベルと同じものです。

・**容量**

記録されているディスク容量を総セクタ数、バイト数をそれぞれの形式で表示されます。(MSF 表示はされません)

・**アプリケーション**

ディスクを作成したアプリケーション名が表示されます。

・**製作者**

ディスクを作成した製作者の情報が表示されます。

・**内容**

ディスク容量、ファイルシステム、ビデオ/オーディオ形式(DVD Video 挿入時)、リージョン設定の情報が表示されます。

・**Book Type**

DVD メディアの Book Type が表示されます。

・**Manufacturer ID**

メディアメーカーの ManufacturerID が表示されます。

・**Media ID、Product Revision**

DVD+R/RW/R DL メディアのメディア ID、リビジョンが表示されます。

・**現在のメディアに対するライト可能速度**

挿入されているメディアの書き込み可能速度の仕様と、そのメディアに対するドライブの書き込み可能速度の仕様が表示されます。

**詳細情報ウィンドウ**

・**セッション、トラック**

CD の場合と同様にセッション番号、トラック番号が表示されます。

・**開始(LSN)、合計(LSN)**

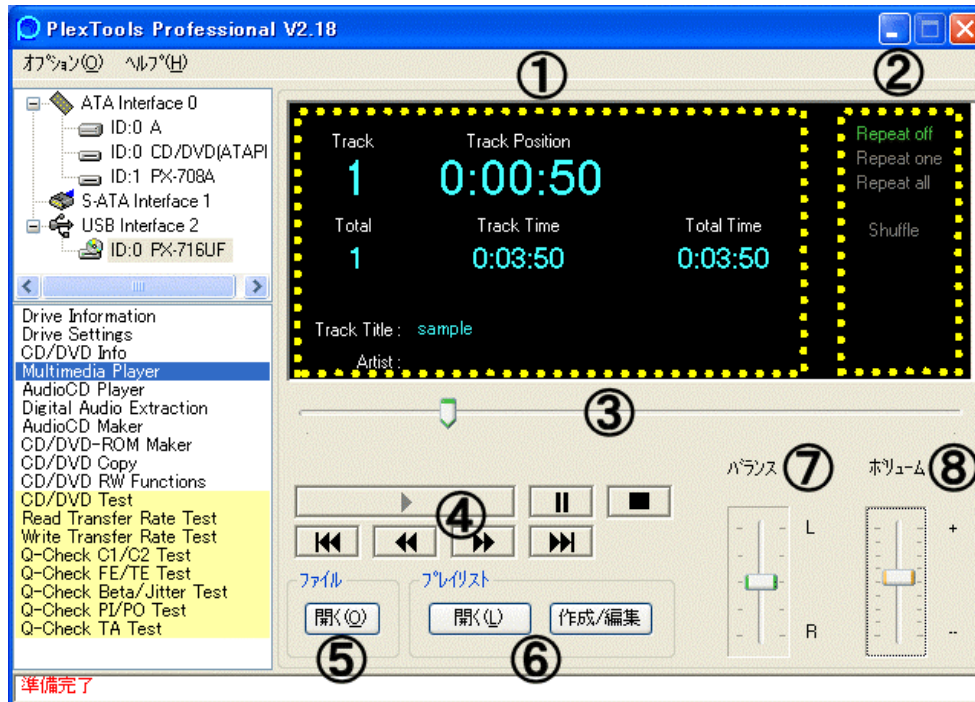
CD の Start、Total と同じ内容で、トラックの開始位置とサイズが表示されますが、LSN(Logical Sector Number)表示になっています。

・**合計(MB)**

合計(LSN)のサイズが MB 単位で表示されます。

## 9、Multimedia Player

Multimedia Player は動画や音楽のマルチメディアファイルを再生するプレイヤーです。Windows にインストールされている MCI ドライバを使って、マルチメディアファイルの再生を行います。そのためここで再生できるファイルの種類は、ユーザー個々の環境によって異なります。



### ①再生ファイル情報

現在再生中のファイル名、プレイリスト&トラック情報(トータル時間、経過時間)が表示されます。Track Position の経過時間をマウスでクリックすると、残り時間の表示に切り替わります。

- Track(再生中のトラック番号)、Track Position(再生中のトラックの経過時間)、
- Total(プレイリストの全トラック数)、Track Time(再生中のトラックの総時間)、
- Total Time(プレイリストの総時間)、
- Track Title(トラックのタイトル)、Artist(トラックのアーティスト)

### ②再生方法

プレイリストに登録されているトラックの再生順に関する設定です。

- ・Repeat off: リピート機能は OFF
- ・Repeat once: 選択されたファイルをリピート
- ・Repeat all: プレイリストの内容をリピート
- ・Shuffle: ランダム再生

### ③スライダー

バーを左右にスライドすることで、トラックの任意の位置を再生させることができます。

### ④各種操作ボタン

トラックの早送りやスキップなど、プレイリストの内容を操作できます。

## ⑤ファイル読み込み

開くボタンを押すと、再生するファイルを選択できます。ここでは単一のファイルを開きます。

## ⑥プレイリスト読み込み、作成

プレイリストの読み込み、作成・編集ができます。プレイリストファイル形式は M3U、PLS の2種類に対応しています。



### プレイリスト作成画面

ウェル上にトラックを追加しリストボタンよりプレイリストを保存できます。また AudioCD Maker にエクスポート(出力)することでプレイリストより簡単に音楽 CD を作成することもできます。

## ⑦バランス

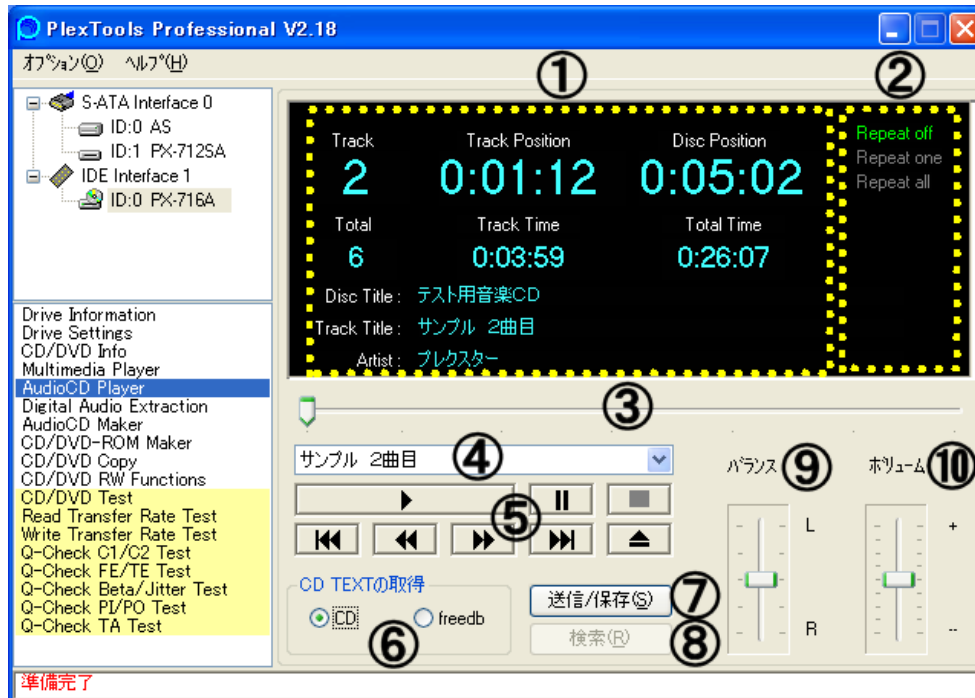
出力音声の左右バランス設定です。

## ⑧ボリューム

再生音量の設定です。ボリューム・バランスのスライドバーは、Windows のボリュームコントロールと連動しています。

## 10、AudioCD Player

音楽 CD の再生を行います。また、CD-TEXT が含まれるディスクを読み込むと、その情報が表示されます。CD-TEXT が含まれていない場合も freedb サーバーにアクセスし音楽 CD 情報を取得できます。また編集した音楽 CD の情報を各種データベース (freedb、ユーザー) に送信/保存することもできます。



### ①再生トラック&ディスク情報

現在再生中のディスクタイトル、トラックタイトル/アーティスト名、トラック/ディスク情報 (トータル時間、経過時間) が表示されます。

**Track** (再生中のトラック番号)、**Track Position** (再生中のトラックの経過時間)、**Disc Position** (再生中のディスクの経過時間)、**Total** (ディスクの全トラック数)、**Track Time** (再生中のトラックの総時間)、**Total Time** (ディスクの総時間)、**Disc Title** (ディスクのタイトル)、**Track Title** (トラックのタイトル)、**Artist** (トラックのアーティスト)

### ②再生方法

トラック/ディスクのリピートに関する設定です。

- ・Repeat off: リピート機能は OFF
- ・Repeat once: 選択されたトラックをリピート
- ・Repeat all: ディスク全体をリピート

### ③スライダー

バーを左右にスライドすることで、トラックの任意の位置を再生させることができます。

### ④トラックリスト

ドロップダウンリストよりトラックリストを表示し、指定したトラックを再生させることができます。

## ⑤各種操作ボタン

トラックの早送りやスキップ、トレイジェクトなどの操作ができます。

## ⑥CD-TEXT の取得

CD または freedb のどちらから、音楽 CD のディスク情報を取得するか選択する設定です。

## ⑦送信/保存

変更したディスク情報を freedb サーバーに送信、ユーザーデータベースに保存できます。freedb 設定の送信/保存オプションで指定されている設定で送信/保存されます。

### 4. 3) 項参照

The screenshot shows a dialog box titled "AudioCD Player: ユーザーデータベースに保存します". It is divided into two main sections: "全般" (General) and "トラック情報" (Track Information).  
In the "全般" section, there are several input fields and buttons:

- データベースバージョン: 0
- カテゴリ: misc (dropdown)
- ジャンル: Pop (dropdown)
- アーティスト: ブレイクスター (text field)
- タイトル: テスト用音楽CD (text field)
- 年: 2004 (text field)
- 拡張データ: (empty text field)
- プレイヤー: (empty text field)
- Buttons: "全てのトラックに設定(T)" and "プレイヤー設定(S)"

In the "トラック情報" section, there are more input fields:

- トラックナンバー: 1 (spin box)
- Page Up: 前のトラック
- Page Down: 次のトラック
- トラックタイトル: サンプル 1曲目 (text field)
- トラックアーティスト: ブレイクスター (text field)
- 拡張トラックデータ: | (text field)
- Buttons: "Save" and "キャンセル"

### ディスク情報編集・保存画面

上記画面でディスク情報を編集しユーザーデータベースに保存、または freedb に送信できます。

## ⑧検索ボタン

⑥CD-TEXT の取得で freedb が選択されている場合に検索ボタンを押すと、freedb にアクセスを行います。

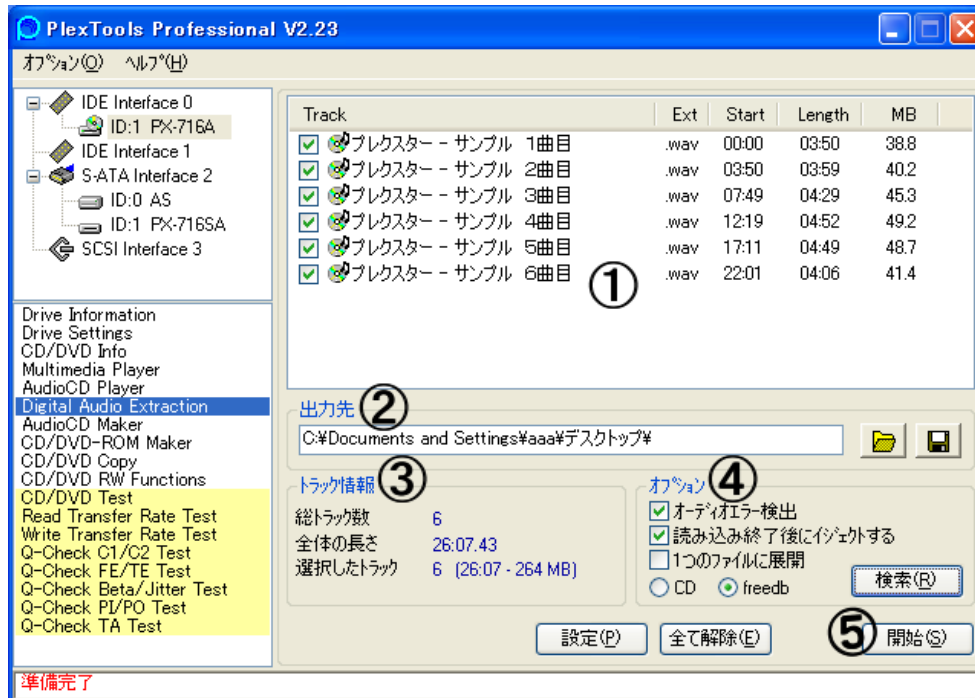
## ⑨バランス、⑩ボリューム

Multimedia Player の場合と同様に出力音声左右のバランスと再生音量の設定です。

## 11、Digital Audio Extraction

Digital Audio Extraction 機能を使用することで、音楽 CD の各オーディオトラックをハードディスクに保存できます。保存するフォーマットも数種類から選択できます。また傷などによる読み取りエラーに対しても詳細なエラー訂正方法を設定できます。

### 11. 1) Digital Audio Extraction メインウィンドウ



#### ①トラック選択ウィンドウ

ドライブに挿入されている音楽 CD の詳細が表示されます。チェックボックスをチェックし、⑤の**開始**ボタンを押すと、そのトラックを HDD に保存します。またメインウィンドウ下部の**全て選択**ボタンを押すと、全てのトラックが選択されます。全てトラックが選択されている状態では**全て選択**のボタンは**全て解除**と表示され、クリックすることで全てのトラックの選択を解除できます。

#### ウィンドウ解説

**Track:** 設定で定義されている方式でトラックのファイル名が表示されます。


**Ext:** 現在選択されているオーディオフォーマットの拡張子が表示されます。

**Start:** トラックの開始時間が表示されます。

**Length:** トラックのトータル時間(長さ)が表示されます。

**MB:** WAVE ファイルで保存した際の容量が表示されます。

#### ②出力先

FDD マーク  をクリックするとファイルの出力先(保存先)の設定です。また直接パスを入力することもできます。

エクスプローラマーク  を押すと Windows のエクスプローラが起動します。

### ③トラック情報

ディスクのトラック情報や選択されているトラックの情報が表示されます。

**総トラック数:** ディスク全体のトラック数が表示されます。

**全体の長さ:** ディスク全体の時間が表示されます。

**選択したトラック:** 選択されたトラック数と総時間、総容量が表示されます。

### ④オプション

トラックを保存する際のオプション設定です。

・オーディオエラー検出 **詳細は11. 2)項、③を参照してください。**

設定で指定された方法でのオーディオエラー検出機能が有効にする設定です。

・読み込み終了後にイジェクトする

トラックの保存が終了した際に、ドライブのトレイがイジェクトされる設定です。

・1つのファイルに展開

複数トラックが選択されている場合に、それぞれのトラックを1つのファイルにまとめ保存する設定です。

・CD、freedb、**検索**

ファイル名で使用する音楽 CD 情報を CD-TEXT から取得するか、freedb から取得するか選択できます。

### ⑤開始

**開始**ボタンを押すと、トラックの保存が開始されます。

トラック選択ウィンドウに表示されている各トラックをマウスで右クリックすることで以下のようなメニューが表示されます。

選択されたトラックを抽出(E) トラックを再生(P)	
全て選択(A) 全て解除(N)	
トラックを編集(D) 開始/終了位置の指定	F2
ファイル名の設定 MP3 ID3v1 Tag	

・選択されたトラックを抽出

選択されているトラックを HDD に保存します。メインウィンドウ⑤の**開始**ボタンと同様の機能です。

・トラックを再生

以下のような簡易プレイヤーが起動し、トラックを再生させることができます。





・**全て選択、全て解除**

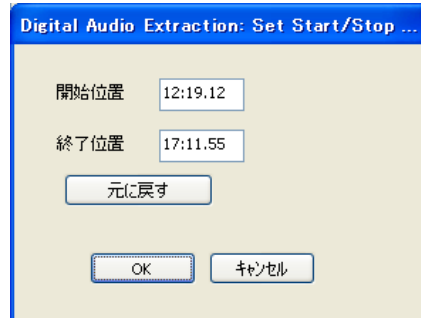
トラックを全て選択、また全て解除できます。

・**トラックを編集**

直接入力でトラックのファイル名を編集できます。

・**開始/終了位置の指定**

開始位置と終了位置を設定することで、トラックの中の一部分のみを保存できる機能です。



・**ファイル名の設定** 詳細は11. 2)項、①を参照してください。

トラックファイル名の定義を変更する設定です。



・**MP3 ID3v1 Tag**

MP3ID3 タグの設定です。保存するオーディオフォーマットに MP3 が選択されている場合に ID3 タグ情報を設定できます。またその他のフォーマット Monkey's Audio、Ogg Vorbis、FLAC のタグ情報もここで編集できます。



## 11. 2) Digital Audio Extraction 設定ウィンドウ

音楽トラックを保存する際のさまざまな設定です。



### ①ファイル名オプション

トラックを保存する際に自動的に作成されるファイル名の構成に関する設定です。

#### ・スペース

ファイル名にスペースが使用されている場合に、そのスペースに対しての設定です。スペースを「含める」、「取り除く」、「アンダースコア“\_”で置き換える」の中から選択できます。

例、ファイル名 Digital Audio Extraction.wav

含める: Digital Audio Extraction.wav

取り除く: DigitalAudioExtraction.wav

アンダースコア“\_”で置き換える: Digital\_Audio\_Extraction.wav

#### ・ファイル名の定義

CD-TEXT、freedb の情報より自動で作成されるファイル名の構成を設定します。

%N	: トラックナンバー	%C	: ディスクタイトル
%T	: トラックタイトル	%I	: ISRC コード
%A	: トラックアーティスト	%Y	: 発売年

例、freedb にて以下の音楽 CD 情報を取得した場合

ディスクタイトル	思い出の歌謡曲		
トラック1タイトル	長野は昨日も晴れだった	トラック1アーティスト	プレク太郎
トラック2タイトル	小川のせせらぎのように	トラック2アーティスト	プレク花子
発売年	2004		

作成されるファイル名(拡張子 wav)

・設定: %A-%T

プレク太郎-長野は昨日も晴れだった.wav

プレク花子-小川のせせらぎのように.wav

・設定: %A-%C-Track0%N-%T

プレク太郎-思い出の歌謡曲-Track001-長野は昨日も晴れだった.wav

プレク花子-思い出の歌謡曲-Track002-小川のせせらぎのように.wav

#### ・CD-TEXT の取得方法

ファイル名で使用する音楽 CD 情報を CD-TEXT から取得するか、freedb から取得するか選択する設定です

## ②オーディオフォーマットオプション

保存するフォーマットの形式を選択する設定です。

#### ・PCM(wave)

無圧縮の PCM 方式で保存します。拡張子は wav となります。設定はサンプリング周波数: 8kHz ~ 44.1kHz、サンプリングビット数: 8bit ~ 16bit、チャンネル: Stereo/Mono の中から選択できます。通常の音楽 CD はサンプリング周波数 44.1kHz、サンプリングビット数 16bit の PCM 方式で記録されています。

#### ・MP3(Windows encoder)

MPEG1 のオーディオ規格の MP3(MPEG Audio Layer-3)方式で保存します。拡張子は MP3 となります。PCM と比べるとおよそ1/10 のサイズに圧縮されます。Windows 標準のエンコーダを使用するため最大でビットレート: 56kbit/s、サンプリング周波数: 22.05kHz の制限があります。

#### ・MP3(L.A.M.E.)

L.A.M.E.とは世界中で幅広く使われている MP3 エンコーダを使用し MP3 方式で保存します。Windows 標準のエンコーダとは違い、最大でビットレート: 320kBit/s、サンプリング周波数: 44.1kHz の設定で保存できます。PlexTools Professional の実行ファイルがあるフォルダ(通常 C:\Program Files\Plextor)の中に lame\_enc.dll をコピーすることで使用できるようになります。

詳細は<http://www.mp3-tech.org/> を参照ください。

#### L. A. M. E. 拡張オプション



### プリセット設定

数種類の目的に応じた初期設定を選択できます。

### MPEG バージョン

MPEG のバージョンを設定できます。各バージョンで設定できるサンプリング周波数やビットレートが異なります。

### ステレオ設定

各種ステレオ形式を、Stereo/Joint Stereo/Mono より選択できます。

### VBR 設定

VBR でエンコードを行なう際の処理方法を設定できます。

### サンプリング周波数

サンプリング周波数を設定できます。

### 品質設定/VBR 品質設定

品質設定、VBR 品質設定を9段階より設定できます。

### CBR/VBR(Min) (Max)、ABR(kbps)

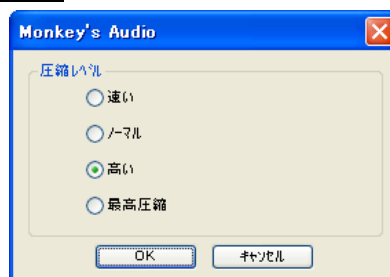
各種エンコード形式のビットレートを設定できます。

チェックサムの書き込み、コピーライト、オリジナル、プライベート、ISOMPEG に準拠

MP3 ファイルのヘッダ情報やストリームオプションを設定できます。

### •Monkey's Audio

Monkey's Audio 方式で保存します。音質を落とさずに PCM(wav) 音源を圧縮する可逆圧縮フォーマットです。拡張子は ape となります。可逆圧縮ですので圧縮後も元の wav ファイルに戻すことができます。圧縮レベルは圧縮率の低い順に速い、ノーマル、高い、最高圧縮の4段階から選択できます。



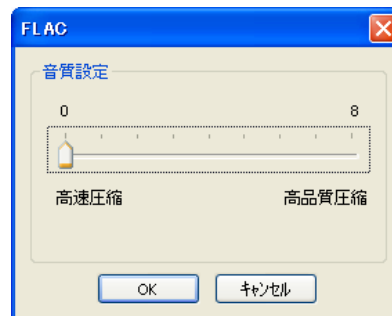
### •Ogg Vorbis

Ogg Vorbis 方式で保存します。Ogg プロジェクトのフリーで使用できる非可逆圧縮の音声圧縮フォーマットです。MP3 と同様の音質を保ちつつ、ファイルサイズが小さいという特長があります。拡張子は ogg となります。エンコード方式は VBR で10段階より音質を選択できます。



#### ・FLAC

FLAC 方式で保存します。Ogg プロジェクトのフリーで使用できる可逆圧縮の音声圧縮フォーマットです。拡張子は flac です。可逆圧縮ですので Monkey'sAudio 同様に圧縮されたデータから元のデータを復元可能です。8段階より音質を選択できます。



### ③DAE エラーリカバリーオプション

オーディオエラーに対する対処法に関する設定です。Audio データ読み取り時に傷などが原因でエラー訂正できない場合は、そのエラーが原因でノイズなどの原因になる場合があります。ここでそのエラーに対して PlexTools Professional の対処法(復旧方法)を設定できます。対処法としては読み込みの繰り返しや低速読み込みなどでデータの復旧を試みます。

#### 1、Report Errors only (no recovery action).

エラーの報告だけを行い、エラーの訂正は行いません。

#### 2、Reduce the speed upon error.

エラーが確認され場合は読み取り速度を落として読み込みます。

#### 3、Read again upon error.

エラーが確認された場合は **リトライ** で指定された回数だけ読み込みを繰り返します。**速度ダウンを許可** が有効になっている場合、さらに低速で再読み込みを行います。

#### 4、Recover the best sector (least errors).

最もエラーの少ないセクタを選択する。エラーが確認された場合は指定回数だけ読み込みを繰り返し、それでもエラーが残る場合は最もエラーの少なかったセクタ

を選択して読み込みます。

**速度ダウンを許可**が有効になっている場合、さらに低速で再読み込みを行います。

#### 5、Recover the best bytes (least errors) per sector.

セクタ毎にバイト単位でエラー訂正を行います。エラーが確認された場合は指定回数だけ読み込みを繰り返し、それでもエラーが残る場合は最もエラーの少なかったバイトを選択して読み込みます。

**速度ダウンを許可**が有効になっている場合、さらに低速で再読み込みを行います。

#### **リトライ**

再読み込みする回数の設定です。

#### **最大エラー数**

読み込み時の最大エラー数に関する設定です。設定した数を読み込みエラーが超えるとエラーとしてトラックの保存を停止します。

#### **速度ダウン許可**

エラーが確認された際に、速度を落として読み込む設定です。チェックすること有効になります。

#### **エラーログ**

保存したファイルと同じ場所に読み込みエラーの詳細ログを作成する設定です。チェックすると有効になります。

### ④ポーズの設定

#### **ポーズをチェック**

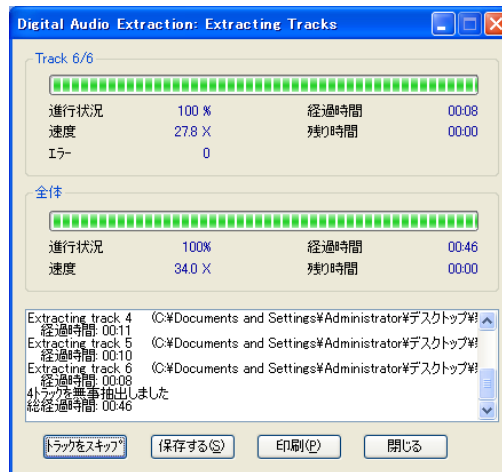
無音部分を省く設定です。トラックを保存する際に、トラック間の無音部分(ポーズ)をチェックし、無音部分を含まない状態で保存できます。チェックすると有効になります。

#### **ポーズを含む**

上記“ポーズをチェック”の設定が有効になっていないと選択できません。トラック間の無音部分をチェックし、無音部分を含んだ状態でトラックの保存を行う設定です。チェックすると有効になります。

## 11. 3) Digital Audio Extraction 終了ウィンドウ

トラックの保存が終了すると、以下のウィンドウが表示されます。



・**トラックをスキップ**

現在保存中のトラックを中断し、次のトラックの保存を始める機能です。

・**保存する**、**印刷**

作業終了時のログファイルやシステム環境のログファイルを保存、印刷できます。

・**閉じる**

ウィンドウを閉じることができます。



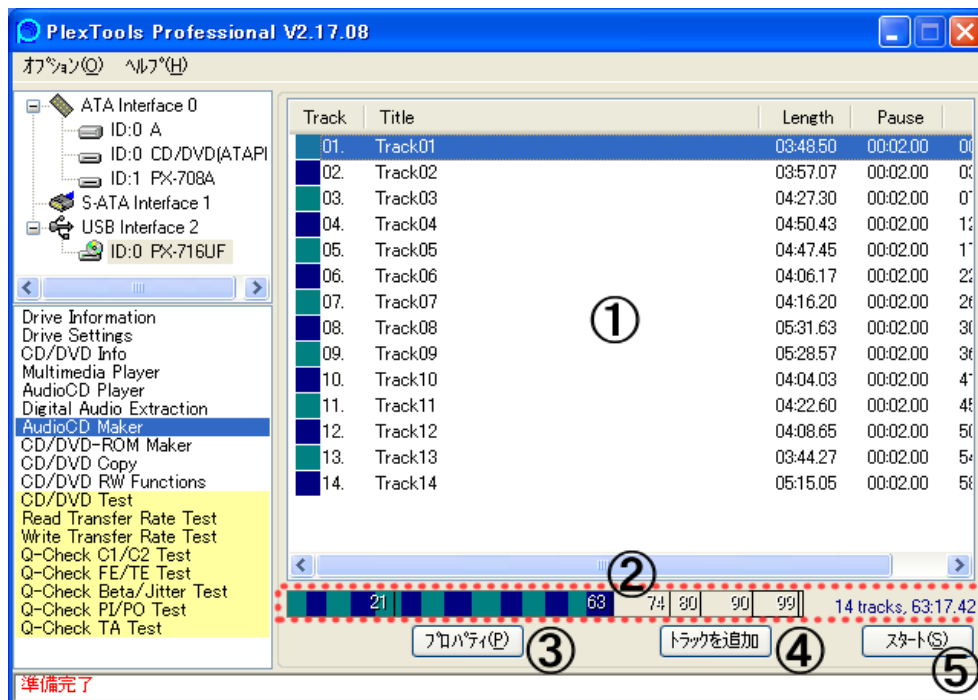
**Tips5**、作成ファイルのノイズについて

それほど傷も無いにもかかわらず、オーディオエラー検出機能が有効になっているとノイズがのってしまう音楽 CD も存在します。ノイズがのってしまった場合はオーディオエラー検出機能を無効にして確認してください。

## 12、AudioCD Maker

AudioCD Maker では wav、mp3、ape、ogg、flac の各オーディオファイルからオリジナル音楽 CD を作成できます。登録できる wav ファイルはサンプリング周波: 44.1kHz、サンプリングビット: 16bit、チャンネル: ステレオである必要があります。**トラックを追加**のボタンよりオーディオファイルを指定するか、ウェル上にオーディオファイルをドラッグアンドドロップすることでファイルを登録できます。また VariRec や GigaRec と併用して使用することもできます。

## 12. 1) AudioCD Maker メインウィンドウ



### ①オーディオファイル登録ウエル

ここにオーディオファイルをドラッグアンドドロップすることでファイルを登録できます。

### ②登録トラック情報

登録されているトラックの情報が表示されます。総トラック数と総時間が表示されます。またバー表示により現在の総時間、残りの時間がグラフィカルに表示されます。

### ③プロパティ

CD-TEXT の情報や UPC/EAN、ISRC 情報、また各トラックのポーズ(無音部分)時間に関する設定です。**全トラックに設定**のボタンを押すと、アーティスト情報、ISRC 情報、ポーズ時間を全トラックに反映させることができます。



### ④トラックを追加

**トラックを追加**ボタンを押すと、ファイル選択ウィンドウが起動し、オーディオファイルを指定することで音楽トラックとして登録できます。

### ⑤スタート

**スタート**ボタンを押すと、書き込みダイアログが起動し、書き込み設定に移ります。



再生(P)
全て選択(A) 削除(D)
印刷(O) 保存(S)
プロパティ(R)

#### ・再生

以下のような簡易プレイヤーが起動しトラックを再生させることができます。



#### ・全て選択

登録されているファイルを全て選択できます。複数選択する場合は Ctrl キーを押しながらマウスで選択することもできます。

#### ・削除

選択されているファイルが削除されます。

#### ・印刷、保存

現在登録されている各トラックの詳細をテキストファイルとして保存、印刷できます。

#### ・プロパティ

**プロパティ** ボタンを押した場合と同様の CD-TEXT 設定ウィンドウが表示されます。


## 12. 2) AudioCD Maker 書き込みダイアログ

書き込みダイアログで書き込み設定ができます。



## 出力先

### ドライブ選択

書き込みを行うドライブを選択します。また PXI Image を選択すると PlexTools Professional 独自のイメージファイルとして HDD に保存できます。PXI Image を選択すると FDD ボタン  が表示されますのでボタンを押し、イメージの保存先を指定してください。

### ライト速度

書き込み速度の設定です。選択したドライブが対応している書き込み速度が表示されます。VariRec、GigaRec など速度が規制される機能を使用した場合は、規制された速度しか表示されません。

### Buffer Underrun Proof

書き込み時にシステムからドライブに対しデータの転送が途切れてしまい書き込みエラーになってしまうバッファアンダーランエラーを防止する設定です。チェックすると有効になります。

### オーバーバーン許可

オーバーバーン(CD の容量を超える書き込み)を有効にする設定です。チェックすると有効になります。

### コピー数

指定した枚数分ディスクを連続して作成する設定です。

### 特殊機能状態表示

各種特殊機能 (PowerRec、AUTOSTRATEGY、VariRec、GigaRec、AudioMASTER※Premium2 のみ、Silent Mode、SecureRecording) の ON/OFF の状態が表示されます。

## Write オプション

### シミュレーション

テスト書き込みのみ行います。

#### シミュレーション & ライト

テスト書き込みを行い、その後、続けて実際の書き込みを行います。

#### ライト

書き込みのみ行います。

#### CD Text を書く

設定した CD-TEXT 情報を書き込む設定です。チェックすると CD-TEXT が書き込まれます。

#### UPC/EAN code を書く

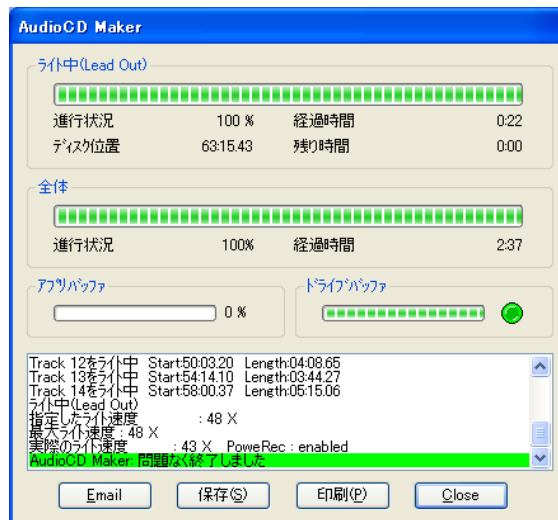
設定した UPC/EAN コードを書き込む設定です。チェックすると UPC/EAN コードが書き込まれます。

#### ISRC code を書く

設定した ISRC コードを書き込む設定です。チェックすると ISRC コードが書き込まれます。

## 12. 3) AudioCD Maker 終了ウィンドウ

音楽 CD 作成が終了すると、以下のウィンドウが表示されます。



#### E-mail、保存、印刷

作業終了時のログファイルやシステム環境のログファイルをプレクスターサポートに Email 送信、HDD に保存、プリンタで印刷できます。

#### Close

ウィンドウを閉じることができます。



### 注意8、英語、日本語の CD-TEXT について

PlexTools Professional は1バイト文字(半角)と2バイト文字(全角)の CD-TEXT 情報を同時に書き込むことはできません。半角、全角を混在させ CD-TEXT 情報を設定した場合、半角は全角に変換されて CD-TEXT 情報が書き込まれません。

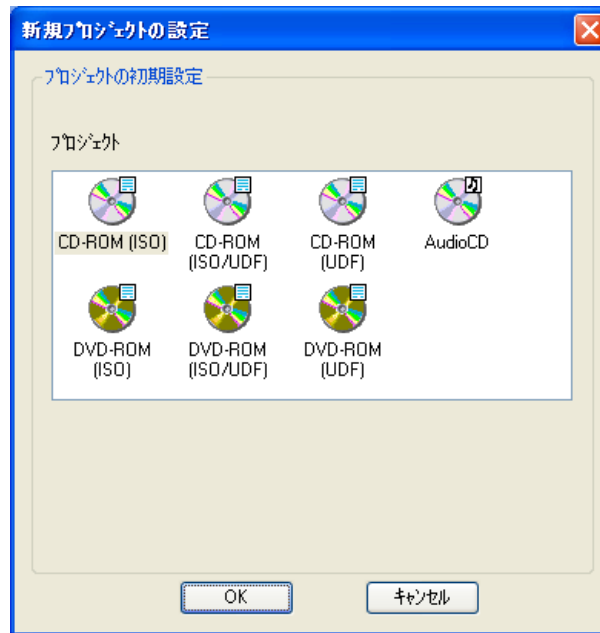
## 13、CD/DVD-ROM Maker

CD/DVD-ROM Maker では Windows 上のデータを書き込むことができます。まずプロジェクトを選択し、ウェル上にファイルをドラッグアンドドロップすることで書き込むファイルを登録できます。また VariRec や GigaRec と併用して使用することもできます。

**データの追記(前セッションのインポート)には対応しておりません。**

**また DVD-Video の作成にも対応しておりません。**

### 13.1) CD/DVD-ROM Maker プロジェクト選択ウィンドウ



書き込むファイルシステムごとに6種類の形式から選択できます。

- **CD-ROM (ISO)、DVD-ROM (ISO)**

最も標準的なデータ CD のファイルシステムである ISO9660 形式で CD/DVD-ROM を作成します。また ISO ファイルシステムは汎用性が高い分、ファイル/フォルダの名前の制限が厳しいですが、Windows 用に拡張された Joliet ファイルシステムを使用することでロングファイルネームが使用できます。

- **CD-ROM (UDF)、DVD-ROM (UDF)**

ISO9660 形式に代わる光磁気ディスクのファイルシステムの UDF 形式で CD/DVD-ROM を作成します。DVD の標準ファイルシステムとされています。メディアの性質や OS に依存せずロングファイルネームを使用できます。

- **CD-ROM (ISO/UDF)、DVD-ROM (ISO/UDF)**

ISO ファイルシステムと UDF ファイルシステムを混在させて CD/DVD-ROM を作成します。UDF に対応していない Windows95 や NT の環境でも ISO9660 形式で CD を読み込むことができます。

- **AudioCD**

AudioCDMaker が起動し音楽 CD 作成作業ができます。



### Tips6、ファイルシステムによる文字数の制限

各ファイルシステムで使用できる文字数の制限は以下のようになります。

(半角/1byte の場合)

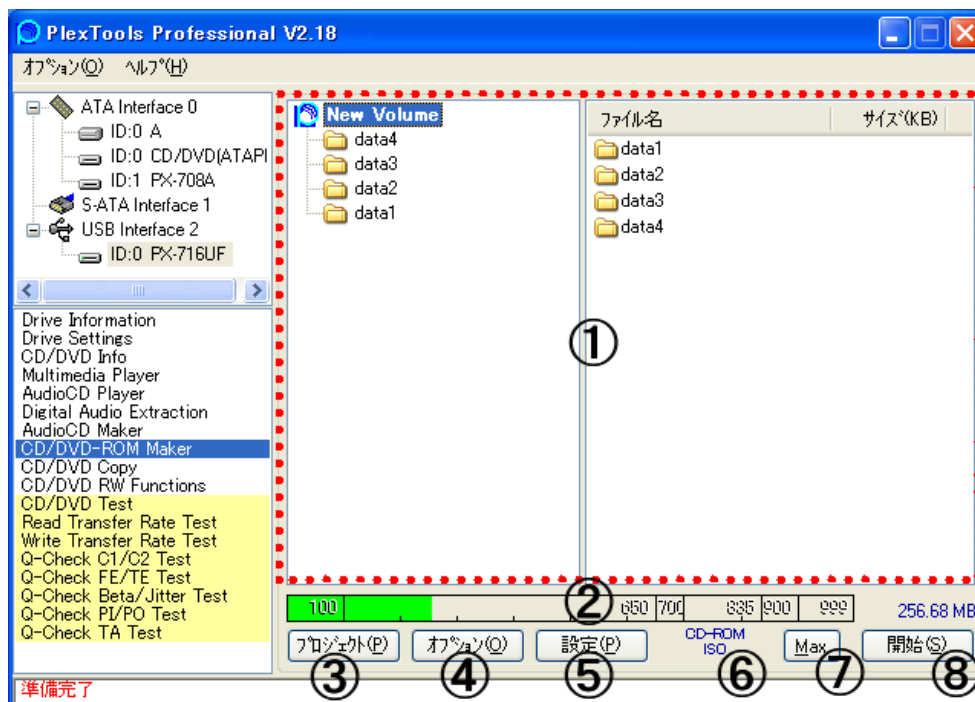
- ・ISO9660Level1 : ファイル名8文字+拡張子3文字
- ・ISO9660Level2 : 31文字
- ・ISO9660Joliet 拡張 : 64文字
- ・UDF : 255文字



### 注意9、4GB を超えるファイルの書き込みについて

Windows のファイルシステムが FAT32 の場合は4GB を超えるイメージ(一時ファイル)の作成はできません。またISO形式でCD/DVD-ROMを作成する場合も4GB を超えるファイルは書き込むことができません。

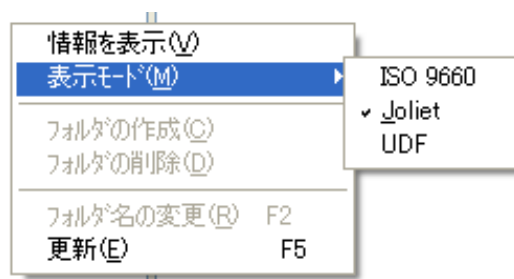
## 13.2) CD/DVD-ROM Maker メインウィンドウ



### ①ファイル登録ウェル

書き込むファイルをウェル上にドラッグアンドドロップして登録できます。

ファイル登録ウェルをまたは登録された各ファイルをマウスで右クリックすることで以下のようなメニューが表示されます。



## ・情報を表示

以下のような現在作成しているプロジェクトのボリューム情報が表示されます。



## ・表示モード

表示モードを確認/切り替える設定です。現在ウェルに表示されているファイルシステムを ISO9660、Joliet、UDF で切り替えることができます。ファイル/フォルダ名等を変更した場合は現在表示されているファイルシステムのみ変更されることとなります。

## ・フォルダの作成、削除

フォルダの作成、削除ができます。

## ・ファイル名の変更

ファイル名の変更ができます。

## ・更新

ウェルを更新(最新の情報に更新)できます。

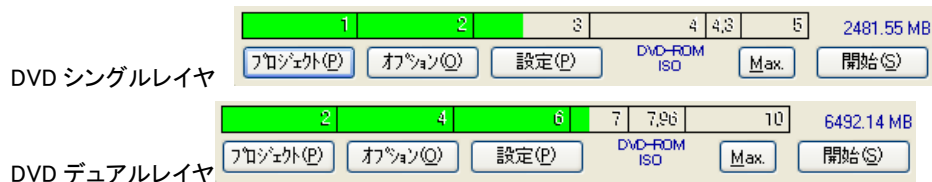


### 注意10、ボリューム/ファイル/フォルダ名の変更について

ボリューム/ファイル/フォルダ名を変更する際は表示モードを目的に応じたファイルシステムに設定して変更してください。例えば表示モードがISO9660の時にファイル名を変更しても、作成されたデータディスクをWindowsで見るとは設定が反映されません。上記のような場合は表示モードをJolietに設定しファイル名の変更を行ってください。

## ②登録データ情報

登録されているデータの情報(総容量)が表示されます。またバー表示により、メディアの容量に対しての現在の容量がグラフィカルに表示されます。



### ③プロジェクト

プロジェクトボタンを押すと、12. 1)のプロジェクトウィンドウが表示されます。

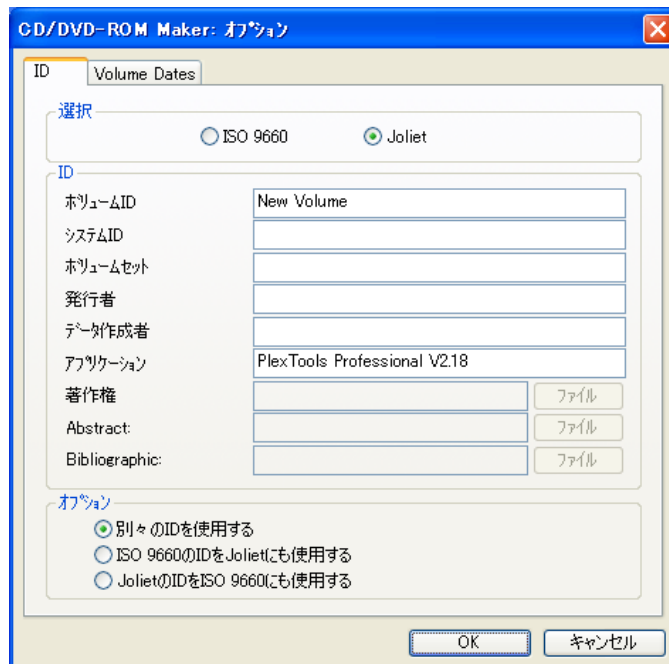
### ④オプション

オプションボタンを押すと、ボリュームに関するオプションウィンドウが表示されます。

#### ID タグ

作成するディスクのボリューム情報に関する設定です。

ボリュームID(ボリュームラベル)以外の情報はWindows上では表示されませんので、特に設定する必要はありません。



#### 選択

##### • ISO9660、Joliet

ボリューム名を記述するファイルシステムを選択します。全角を用いる場合はJolietを選択してください。

#### ID

##### •ボリュームID

ディスクのボリューム名(ボリュームラベル)の設定です。

##### •システムID

ディスクがセットされるべきシステム情報の設定です。

##### •ボリュームセット

ボリュームが複数枚存在する場合、作成するディスクのボリューム集合識別子情報の設定です。

##### •発行者

ディスクの編集を行った発行社名情報の設定です。

##### •データ作成者

ボリューム内のデータ作成者情報の設定です。

##### •アプリケーション

ディスク作成に使用したアプリケーション情報の設定です。

#### ・著作権

著作権情報の設定です。CD のルートに存在する著作権に関する情報が記述されているファイルを指定します。

#### ・Abstract

抄録情報の設定です。CD のルートに存在する要約(抄録)に関する情報が記載されているファイルを指定します。

#### ・Bibliographic

参考文献情報の設定です。CD のルートに存在する参考文献に関する情報が記載されているファイルを指定します。

### オプション

#### ・別々の ID を使用する

ISO9660、Joliet それぞれ別の情報を設定できます。

#### ・ISO9660 の ID を Joliet にも使用する

ISO9660 の情報を Joliet に反映させてボリューム情報を設定できます。

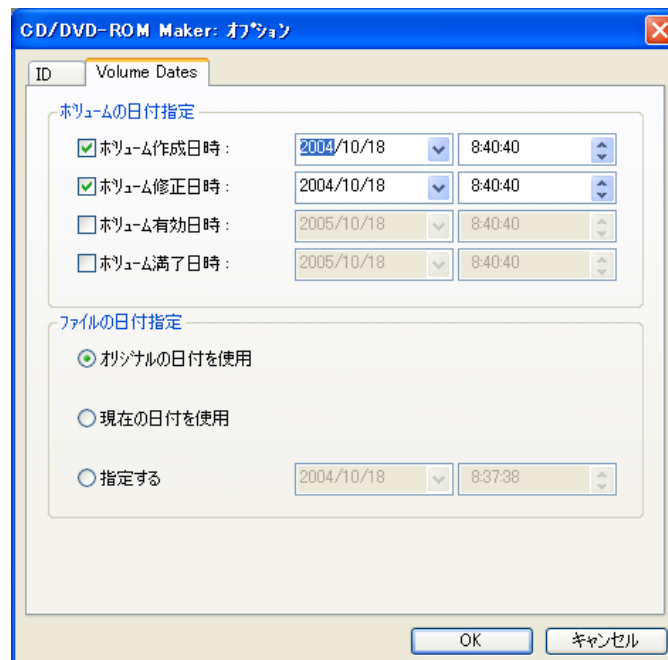
#### ・Joliet の ID を ISO9660 にも使用する

Joliet の情報を ISO9660 に反映させてボリューム情報を設定できます。

### Volume Dates タブ

作成するディスクのボリューム情報に関する設定です。

ボリューム日付は不用意に設定を行うと、トラブルの原因となりますので通常は設定を行う必要はありません。



### ボリューム日付指定

#### ・ボリューム作成日時

ボリュームが最初に作成された日付・時間情報の設定です。

#### ・ボリューム修正日時

ボリュームが最後に更新された日付・時間情報の設定です。



・ボリューム有効日時

ディスク内の情報が有効となる日付・時間情報の設定です。

・ボリューム満了日時

ディスク内の情報が無効となる日付・時間情報の設定です。

ファイル日付指定

・オリジナルの日付を使用

ウェルに登録したデータを書き込む際に、ファイルの日付と時間をそのまま設定します。

・現在の日付を使用

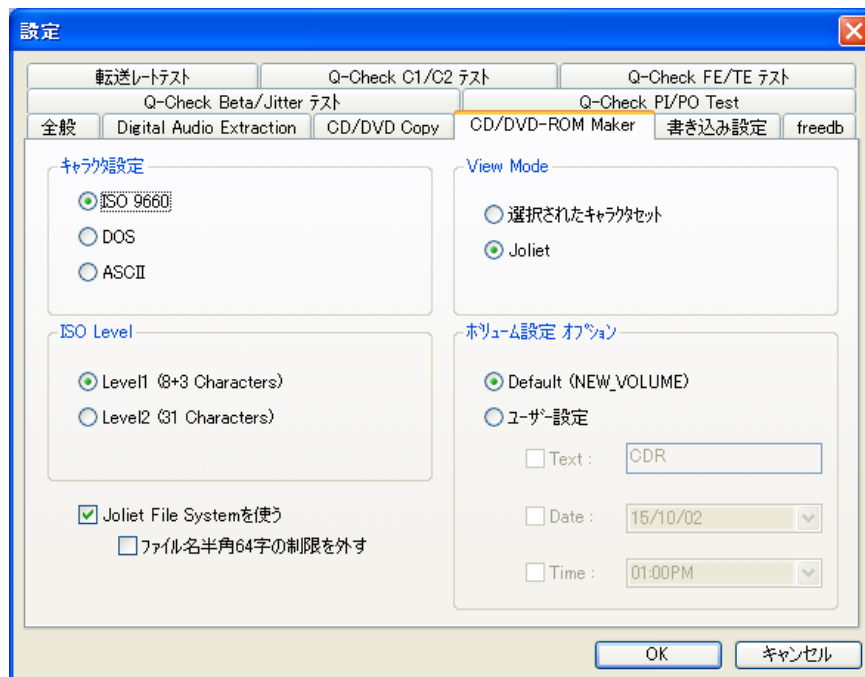
ウェルに登録したデータを書き込む際に、全てのファイル/フォルダの最終更新日時を、書き込みを行った日時に設定します。

・指定する

ウェルに登録したデータを書き込む際に、全てのファイル/フォルダの最終更新日時を手動で設定します。

⑤設定

CD/DVD-ROM Makerの各種設定です。UDFファイルシステムに関する設定はボリューム設定オプションのみで、それ以外の設定はISO9660/Jolietに関する設定です。



**キャラクタ設定**

ISO9660 ファイルシステムで作成する際の、ファイル/フォルダ名に使用する文字の種類に関する設定です。いずれの場合も半角の指定になります。全角で使用する際は Joliet ファイルシステムをご使用ください。

・ISO9660

使用できる文字の種類が英語大文字、数字、アンダースコアと限られますが、ほとんどの OS でファイルの閲覧が可能です。スペースはアンダースコアに自動で変化されて書き込まれます。

#### •ASCII

一部を除く、ほとんどの ASCII 文字が使用できます。スペースの使用も可能です。

#### •DOS

ASCII 文字に加え、半角カナ文字も使用可能です。互換性が低くなるため Windows で使用する場合にのみご使用ください。

例、“Plex ター.txt”というファイルは以下のように変換されます。

ISO9660:PLEX\_.TXT

ASCII:Plex \_.txt

DOS:Plex ター.txt

#### **ISO Level**

ISO9660 レベルの設定です。

##### •Level1 (8+3 Characters)

ファイル/フォルダ名最長半角8文字、ファイル名に関しては拡張子として、さらに半角3文字使用できます。

##### •Level2 (31 Characters)

Level1 の拡張したものでファイル名に最長半角31文字使用できます。全角日本語も使用できますが互換性は低くなります。

#### **Joliet File System を使う**

Joliet ファイルシステムを使用しディスクの作成を行う設定です。上記 ISO の制限等を気にすることなくディスクの作成が可能です。

#### **ファイル名半角 64 文字の制限を外す**

Joliet の規制を外し半角 64 文字以上の書き込みを可能にする設定です。チェックすると有効になります。

#### **View Mode**

ファイル登録ウエル上での表示を切り替える設定です。(ウエルを右クリック/表示モードでも同様の操作が可能です)

##### •選択されたキャラクタセット

キャラクタ設定で設定した文字の種類で表示されます。

##### •Joliet

Joliet ファイルシステムで表示されます。

#### **ボリューム設定オプション**

標準で作成されるボリューム名を自由に定義する設定です。

##### •Default (NEW\_VOLUME)

ボリューム名が標準の NEW\_VOLUME に設定されます。

##### •ユーザー設定

Text: 入力された文字がボリュームとして使用されます。

Date: 日付が Text の後に付加されます。

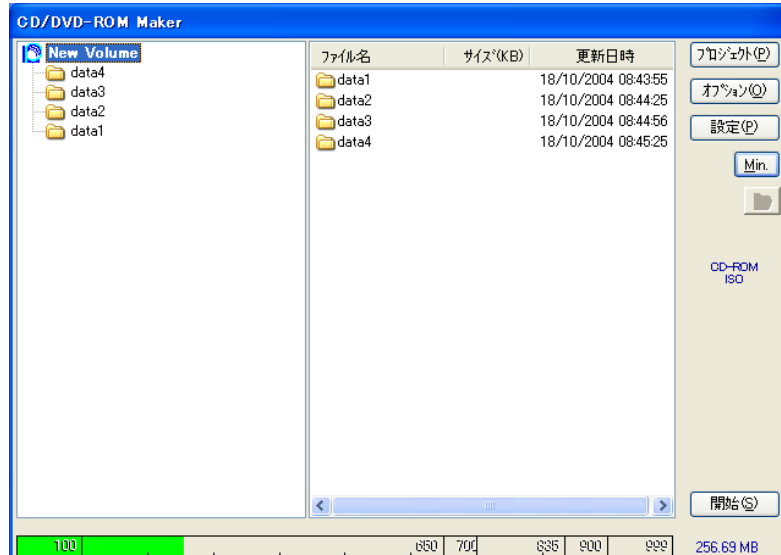
Time: 時間が日付の後に付加されます。

## ⑥プロジェクト詳細

現在作成しているプロジェクトの詳細(ファイルシステム)が表示されます。

## ⑦Max 表示に切り替え

ウェルが以下のような最大表示に切り替わります。各種ボタン等の内容は変わりません。



## ⑧開始

**開始**ボタンを押すと、書き込みダイアログウィンドウが表示され、書き込みの準備ができます。

### 13.3) CD/DVD-ROM Maker 書き込みダイアログ

書き込みダイアログウィンドウで書き込み設定ができます。12. 2) AudioCD Maker の書き込みダイアログとほぼ同じですので詳細はそちらを参照してください。



#### ・ドライブ選択

書き込むドライブを選択します。また ISO Image を選択すると汎用性の高い ISO イメージファイルとして HDD に保存できます。ISO Image を選択すると FDD ボタン



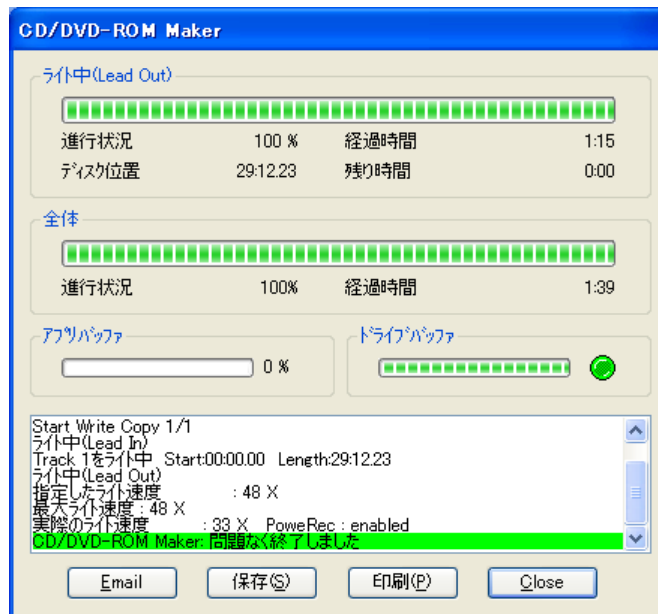
が表示されますのでボタンを押し、イメージの保存先を指定してください。

## ・Write オプション

CD/DVD-ROM Maker の書き込みダイアログはシミュレーション/ライト、オンザフライ、イメージライトの設定ができます。オンザフライとは CD に直接データを書き込む方式で、イメージライトとは書き込みを開始する前に HDD 内にイメージを作成し、その後 CD に書き込む方式です。イメージライトを行う際は書き込むデータと同じだけの HDD の空き容量が必要になります。また **FAT32 ファイルシステムをご使用の場合は4GB 以上のイメージファイルの作成はできません。**

### 13.4) CD/DVD-ROM Maker 書き込み終了ウィンドウ

データ CD/DVD 作成が終了すると、以下のようなウィンドウが表示されます。



表示内容、各種ボタンは12. 3) AudioCD Maker 書き込み終了ウィンドウと同じ内容ですので詳細はそちらを参照してください。

## 14、CD/DVD Copy

CD/DVD Copy では CD、DVD ディスクのコピーができます。また予め作成されたディスクのイメージ(PXI, ISO)からディスクを作成することや、ディスクを HDD にイメージとして保存することもできます。


### 14. 1) CD/DVD Copy メインウィンドウ



#### ①入力

コピー元のディスクが挿入されているドライブを設定します。挿入されている内容またはタイトルが表示されます。またリード(読み込み)速度を設定することも可能です。イメージファイル(PXI, ISO)を選択した際は以下のような表示に切り替わります。




エクスプローラボタン  を押しイメージファイルを選択します。

**情報** ボタンを押すと、以下のようにイメージファイルの詳細が表示されます。



## ②出力

ブランクメディアが挿入されているドライブ(読み込みと書き込みが同じドライブで行う場合は①入力と同じドライブ)、またはイメージファイルを設定します。挿入されているディスクの内容が表示されます。またライト(書き込み)速度の設定をすることも可能です。

イメージファイルを選択した場合は FDD ボタン  を押しファイルの保存先、ファイル名、ファイルの種類(PXI、ISO)を設定してください。

各種特殊機能(PoweRec、AUTOSTRATEGY、VariRec、GigaRec、Silent Mode、SecureRecording)のON/OFFの状態も確認できます。

### PXI、ISO イメージについて

PXI イメージはマルチセッション、マルチトラックのディスクイメージを作成可能ですが、ISO イメージはシングルセッション、シングルトラックに限定されます。また ISO で作成したイメージは他のアプリケーションでも使用可能です。



#### Tips7、ディスク情報が更新されない場合

ディスクをドライブに挿入してもディスク情報が CD/DVD Copy に反映されない場合は、左上のデバイスウィンドウでディスクを挿入したドライブをダブルクリックして情報を更新してください。

## ③オプション

書き込み時、読み込み時の各種設定を行います。

### シミュレーション

テスト書き込みのみ行います。

### シミュレーション & ライト

テスト書き込みを行い、その後、続けて実際の書き込みを行います。

### ライト

書き込みのみ行います。

### オンザフライ

イメージファイルの作成を行わないオンザフライ書き込みを行います。チェックすると有効になり、チェックを外すとイメージ書き込みを行います。

### オーディオエラー検出

⑤の設定で指定された方法でのオーディオエラー検出機能が有効にする設定です。チェックすると有効になります。

### バッファアンダーラン防止

書き込み時にデータの転送が途切れてしまい書き込みエラーになってしまうバッファアンダーランエラーを防止する設定です。チェックすると有効になります。

### コピー数

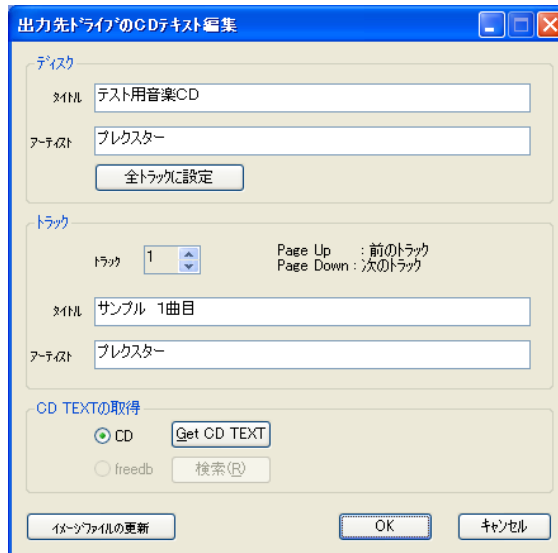
指定した枚数分ディスクを連続して作成する設定です。

### オーバーバーン許可

オーバーバーン(CDの容量を超える書き込み)を有効にする設定です。チェックすると有効になります。

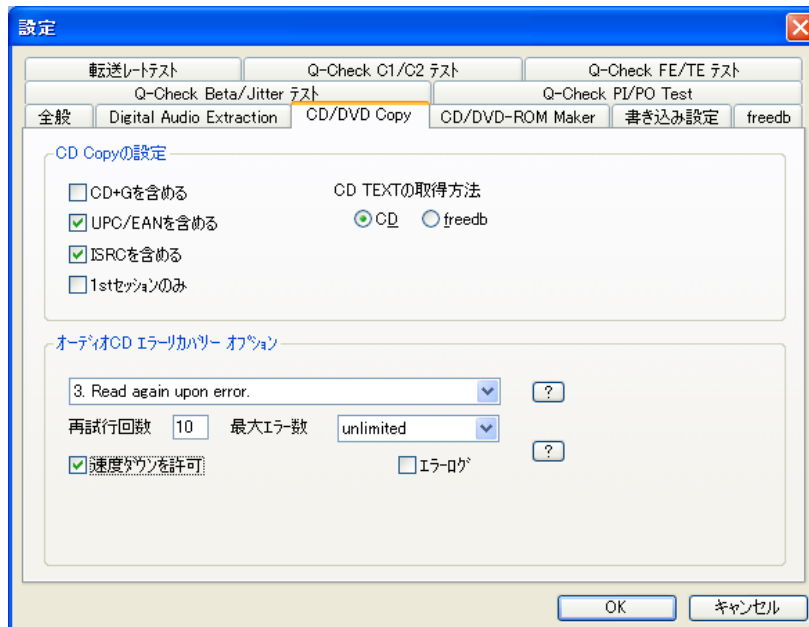
#### ④CD テキスト

CD-TEXT 情報の設定です。CD Text エディタが起動し、音楽 CD をコピーする際は CD-TEXT 情報の設定ができます。また CD-TEXT 情報のある音楽 CD の場合は再編集ができます。CD-TEXT 情報の無いものは freedbより音楽 CD 情報をダウンロードし CD-TEXT に反映させることができます。入力に PXI イメージを選択し、CD-TEXT データの編集を行なった場合は「**イメージファイルの更新**」ボタンを押し、イメージの更新を行なってください。



#### ⑤設定

コピーに関する各種設定です。



##### CD Copy の設定

###### CD+G を含める

カラオケ CD (CD+G) をコピーする際の設定です。チェックすると有効になります。通常はチェックしない状態でご使用ください。本設定が有効になっている場合はオプション設定の「**オーディオエラー検出**」の設定ができなくなります。

#### UPC/EAN を含める

UPC/EAN コードのコピーを有効にする設定です。チェックすると UPC/EAN コードもコピーされます。

#### ISRC を含める

ISRC コードのコピーを有効にする設定です。チェックすると ISRC コードもコピーされます。

#### 1stセッションのみ

マルチセッションディスクの場合は1セッション目のみコピーを行う設定です。チェックすると有効になります。

#### CD TEXT の取得方法

音楽 CD 情報を CD-TEXT から取得するか freedb から取得するか選択する設定です。

### オーディオ CD エラーリカバリーオプション

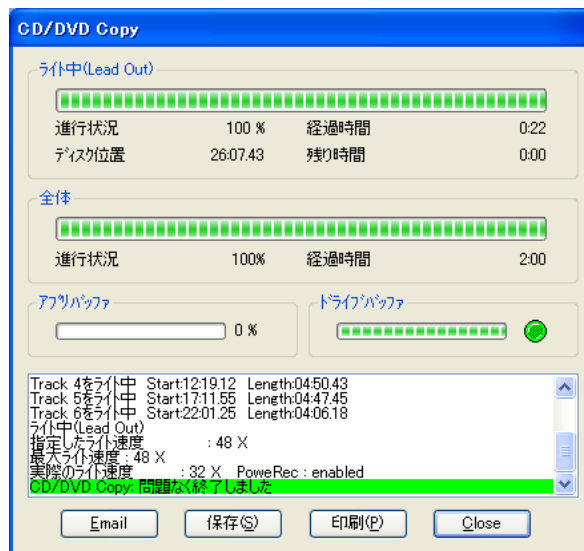
オーディオエラーに対する対処法に関する設定です。Audio データ読み取り時に傷などが原因でエラー訂正できない場合は、そのエラーが原因でノイズなどの原因になる場合があります。ここでそのエラーに対して PlexTools Professional の対処法(復旧方法)を設定できます。詳細は Digital Audio Extraction の設定、DAE エラーリカバリーオプション、11. 2)③を参照してください。

## ⑥開始

コピーを開始します。

### 14. 2) CD/DVD Copy 書き込み終了ウィンドウ

コピーが終了すると以下のウィンドウが表示されます。



詳細に関しては AudioCDMaker、CD/DVD-ROM Maker と同様の内容です。



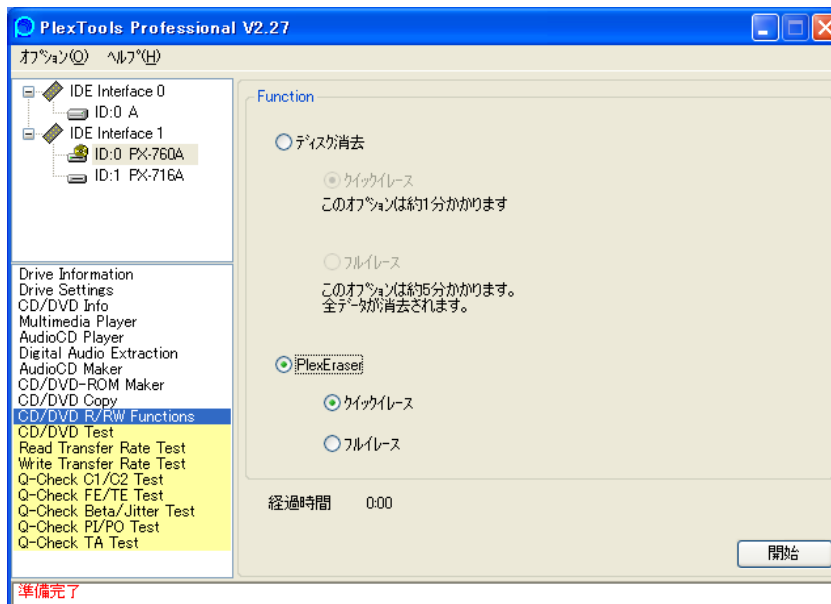
#### 注意 11、オーディオエラー検出機能について

オーディオエラー検出機能はドライブによっては使用できません。Plextor 製のドライブを使用してください。また MixCD のオーディオエラー検出もサポートしていません。



## 15、CD/DVD R/RW Functions

書き込み済みのリライタブルディスクの消去、ライトワンディスクの破壊を行います。



### 15. 1) RW ディスク消去

消去可能なディスクは記録済み CD-RW、DVD+RW、DVD-RW です。(ドライブが各メディアの書き込みに対応している必要があります)消去方法としては、クイックイレースとフルイレースが選択できます。

#### ・クイックイレース

ディスクの TOC の部分のみを消去します。消去時間は1分程度で完了します。

#### ・フルイレース

書き込まれたデータ全てを消去します。消去時間は消去を行うディスクの種類によって異なります。

### 15. 2) PlexEraser

書き込み済みディスクに対し、ディスクの破壊を行います。破壊可能なディスクは CD-R、DVD±R、DVD±R DL です。(ドライブが各メディアの書き込みに対応している必要があります)破壊方法としては RW ディスク消去同様、クイックイレースとフルイレースが選択できます。**※Premium2、PX-755A/PX-760A シリーズのみ**

#### ・クイックイレース

ディスクの内周 TOC エリア近辺の部分のみを破壊します。時間は 30 秒程度で完了します。

#### ・フルイレース

ディスクの内周 TOC 部分とデータ部分の一部を破壊します。ディスク全面に対して 3 分程度で完了します。

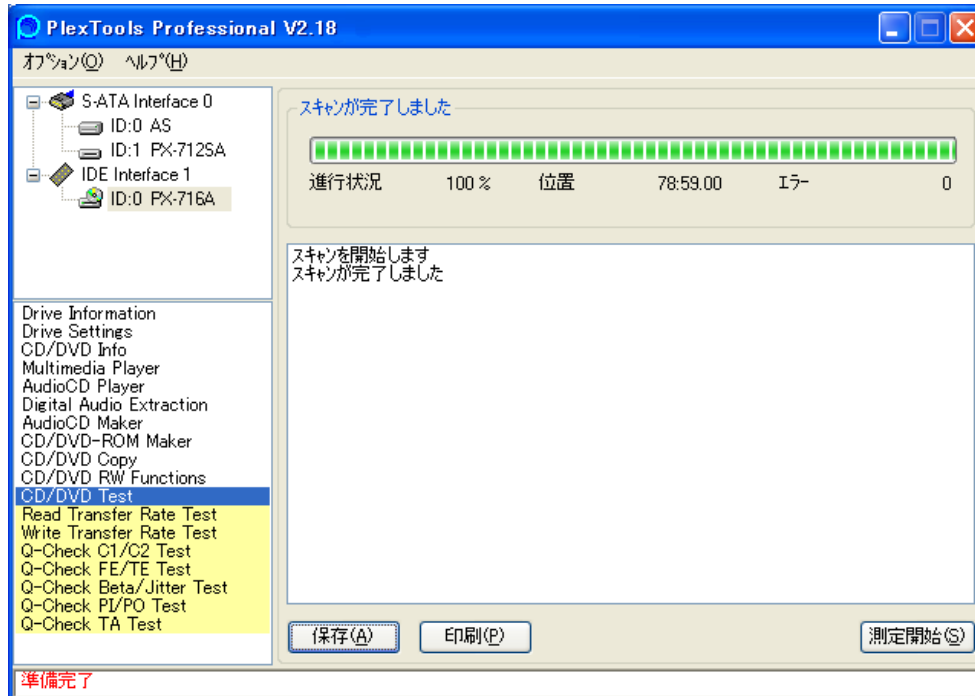


#### 注意12、DVD+RW メディアの消去に関して

PlexTools Professional で消去した DVD+RW メディアは他のアプリケーションではブランクメディアとして認識しない場合があります。その際はそのアプリケーションで再度消去してご使用ください。

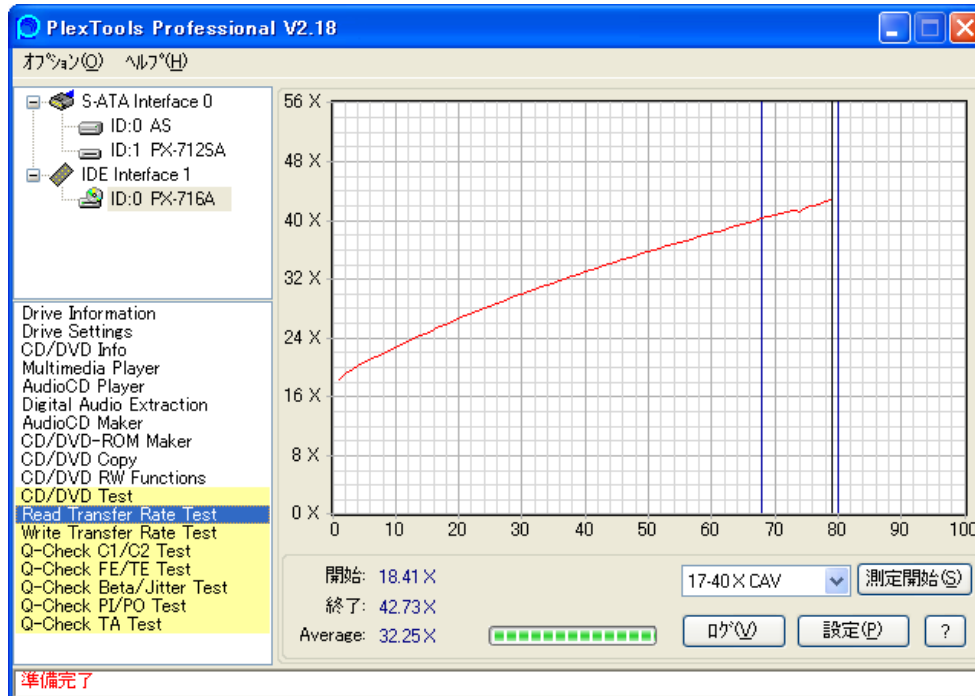
## 16、CD/DVD Test

書き込まれたディスク全体を読み出し、ディスクにエラーがあるかスキャンを行い結果が表示されます。結果はファイルに保存でき、また印刷することも可能です。



## 17、Read Transfer Rate Test

本テストでは、ドライブの読み込み時の転送速度を測定できます。また、**設定**ボタンを押すと、測定時間/間隔、グラフの設定を変更できます。



### 開始

読み込み開始時の速度が表示されます。

### 終了

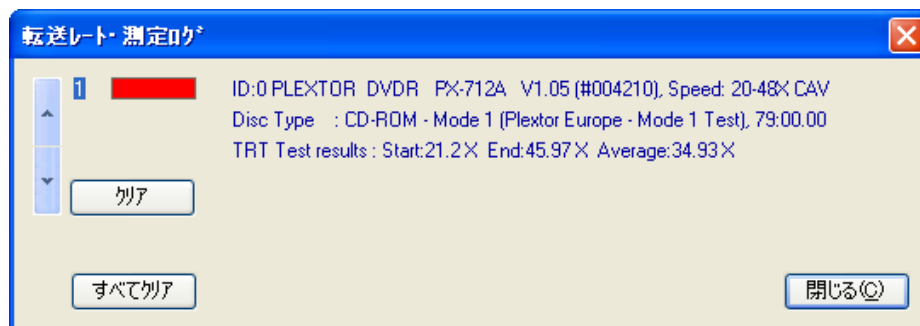
読み込み終了時の速度が表示されます。

### Average

全体の平均速度が表示されます。

### ログ

グラフの情報表示や削除に関する設定です。



### クリア

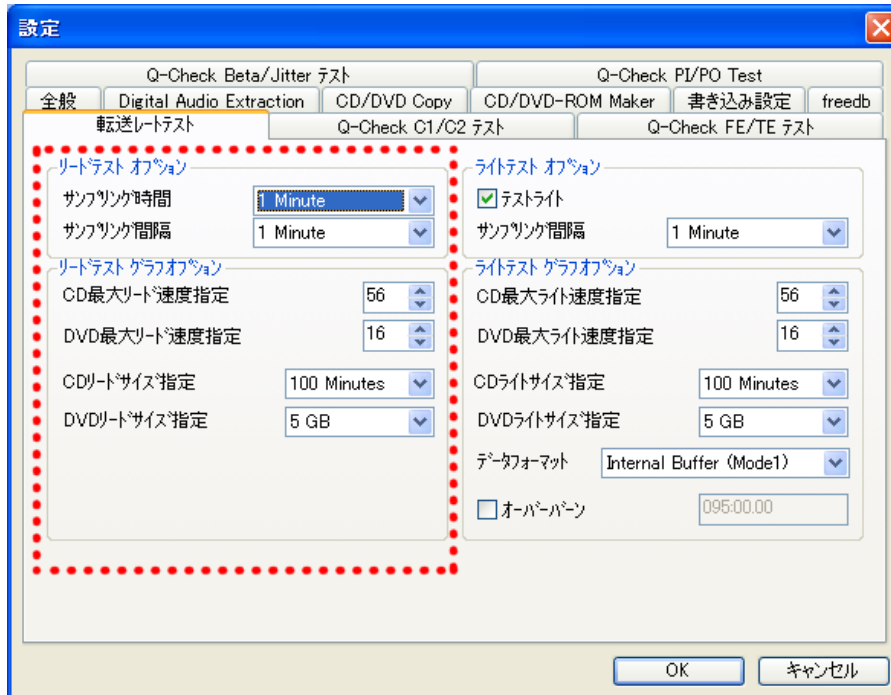
**クリア**ボタンを押すと、選択したグラフをクリア(消去)できます。

### すべてクリア

**すべてクリア**ボタンを押すと、すべてのグラフをクリア(消去)できます。

## 設定

測定時間／間隔、グラフ表示の設定です。



### リードテストオプション

サンプリング時間、サンプリング間隔を共に短くすると高速で測定できます。

- ・**サンプリング時間**: サンプリング間隔ごとに測定する時間の設定です。
- ・**サンプリング間隔**: 測定する間隔の設定です。

サンプリング時間をサンプリング間隔より大きい時間に設定すると正確な測定結果は得ることができなくなる可能性がありますので、サンプリング時間はサンプリング間隔と同じか、短い時間に設定してください。

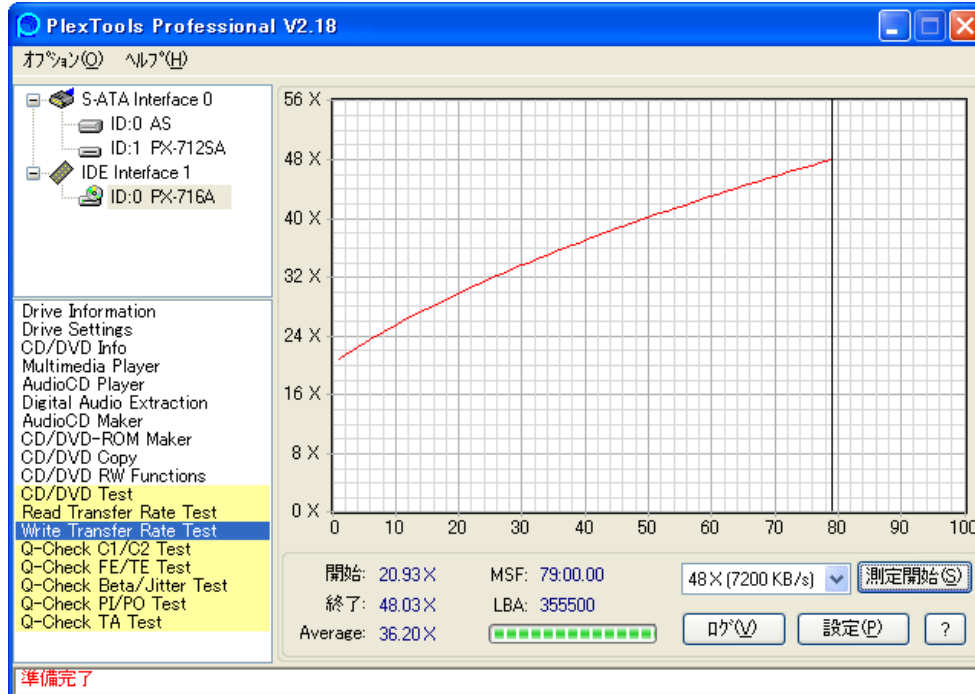
### リードテストグラフオプション

グラフの表示に関する設定を行います。

- ・**CD 最大リード速度指定**  
CD を測定する際、縦軸の速度表示最大値の設定です。
- ・**DVD 最大リード速度指定**  
DVD を測定する際、縦軸の速度表示最大値の設定です。
- ・**CD リードサイズ指定**  
CD を測定する際、横軸の容量(時間)表示最大値の設定です。
- ・**DVD リードサイズ指定**  
DVD を測定する際、横軸の容量表示最大値の設定です。

## 18、Write Transfer Rate Test

本テストでは、ドライブの書き込み時の転送速度を測定できます。また、**設定**ボタンを押すと、テストライト、測定間隔、グラフの設定を変更できます。



### 開始

読み込み開始時の速度が表示されます。

### 終了

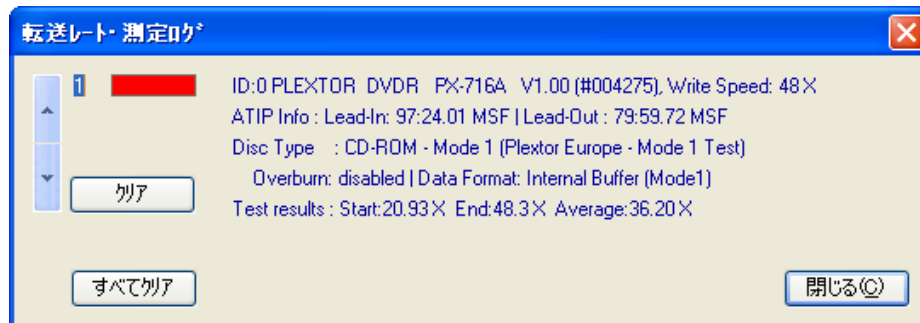
読み込み終了時の速度が表示されます。

### Average

全体の平均速度が表示されます。

### ログ

グラフの情報表示や削除に関する設定です。



### クリア

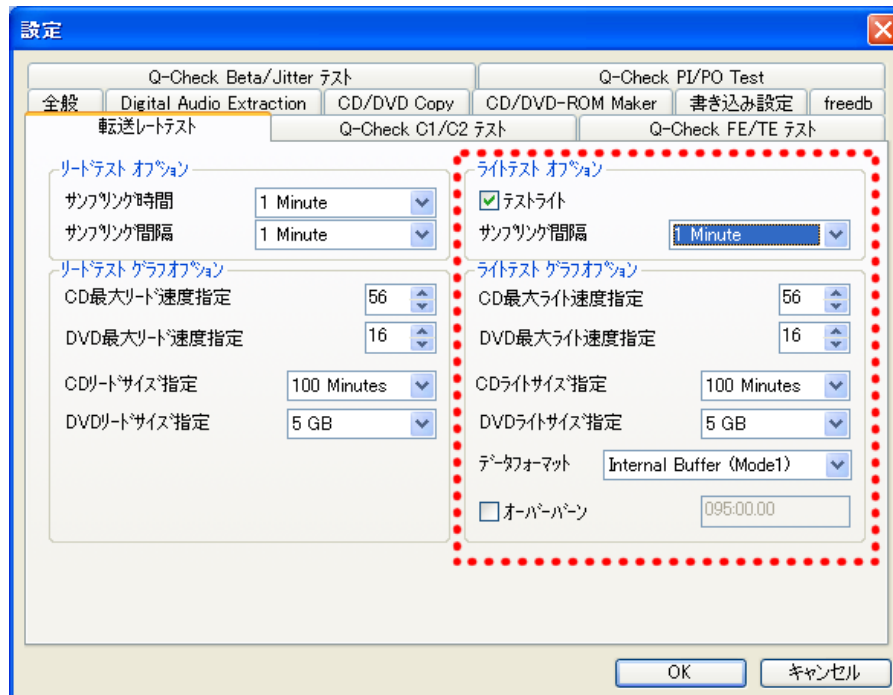
**クリア**ボタンを押すと、選択したグラフをクリア(消去)できます。

### すべてクリア

**すべてクリア**ボタンを押すと、すべてのグラフをクリア(消去)できます。

## 設定

テストライト、測定間隔、グラフ表示の設定です。



### ライトテストオプション

#### ・テストライト

テストライトで転送速度を測定する設定です。チェックを外すと実際のライトで転送速度を測定します。**DVD+RW メディアはテストライトには対応していません。**

#### ・サンプリング間隔

サンプリングする(グラフを描画する)間隔の設定です。**設定を短い時間にしても全体的な測定時間は変わりません。**

### ライトテストグラフオプション

グラフの表示、書き込むデータに関する設定を行います。

#### ・CD 最大ライト速度指定

CD を測定する際、縦軸の速度表示最大値の設定です。

#### ・DVD 最大ライト速度指定

DVD を測定する際、縦軸の速度表示最大値の設定です。

#### ・CD ライトサイズ指定

CD を測定する際、横軸の容量(時間)表示最大値の設定です。

#### ・DVD ライトサイズ指定

DVD を測定する際、横軸の容量表示最大値の設定です。

#### ・データフォーマット

CD を測定する際の書き込むデータ形式の設定です。Mode-1、Audio より選択できます。

#### ・オーバーバーン

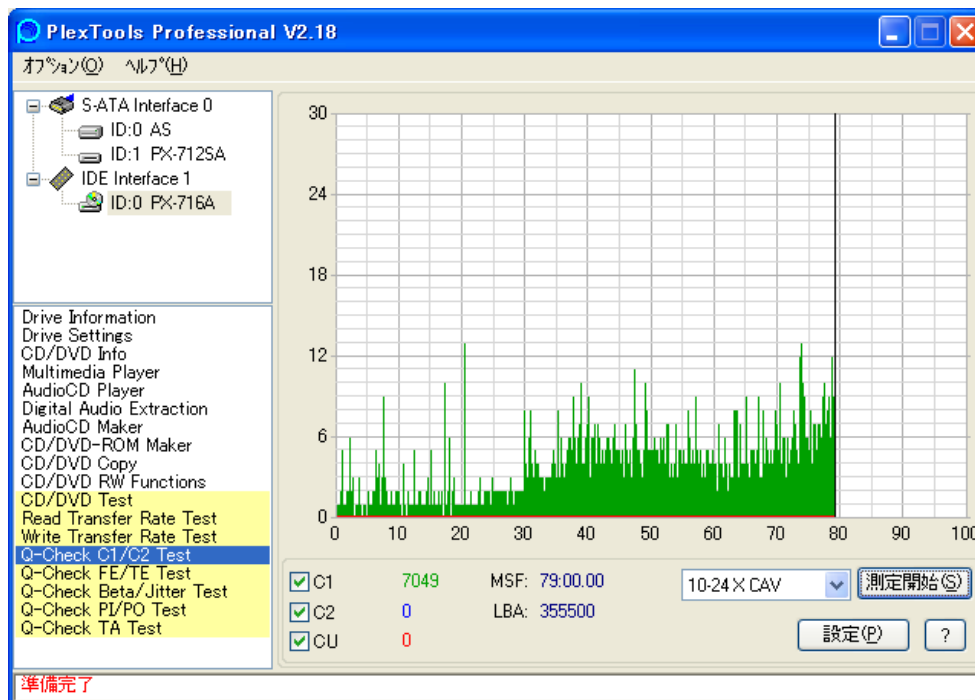
CD を測定する際にオーバーバーン(CD の容量を超える書き込み)の設定を有効にする設定です。チェックすると設定が有効になります。

## Q-Check 機能解説

Q-Check とはドライブ及びディスクのさまざまなテストができる機能です。専門的な知識が必要とされるため上級者向けの機能です。Q-Check は一部の Plextor 製ドライブでのみ利用できます。

## 19、Q-Check C1/C2 Test

CDの読み取りエラー訂正にはCIRC (Cross Interleave Reed Solomon Code)と呼ばれる方式が用いられています。これはC1 とC2 の 2 段階でエラー訂正を行います。1,2 バイト長のエラーはディスク全面に分布しておりランダムエラーと呼ばれC1 で訂正されます。傷などによる比較的大きな欠落によるエラーはバーストエラーと呼ばれC2 で訂正されます。C2 はC1 で訂正できなかったバーストエラーを分散させ、ランダムエラーに置き換えることでエラー訂正を行います。Q-Check C1/C2 Testではそれらのエラー訂正を行った合計を表示しディスクの品質が確認できます。



	C1	C2	CU
Avg / Sec	1.5	0.0	0.0
Max / Sec	13.0	0.0	0.0
Total	7049.0	0.0	0.0

C1、C2 にはそれぞれ以下のようなエラーコードが存在します。

### C1

E11:1 バイトの C1 エラーを訂正した合計/秒

E21:2 バイトの C1 エラーを訂正した合計/秒

E31:3 バイトの C1 エラーを訂正できなかった合計/秒

E31 は C1 での処理を行えないため C2 で処理されます。



## C2

E12: 1 バイトの C2 エラーを訂正した合計/秒

E22: 2 バイトの C2 エラーを訂正した合計/秒

E32: 3 バイトの C2 エラーを訂正できなかった合計/秒

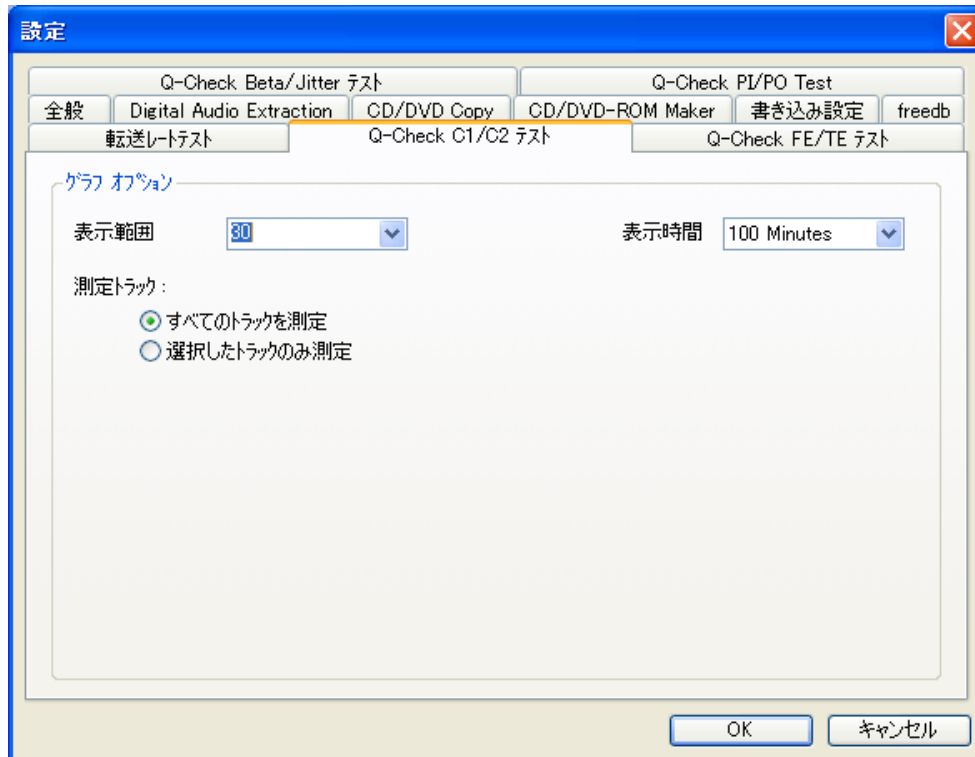
E32 はエラー訂正できないため **CU**(Uncorrectable Error)となります。

**BLER**(ブロックエラーレート): E11、E21、E31 の合計/秒

Q-Check C1/C2 Test では C1:BLER、C2:E22、CU:E32 として表示されます。

C1 でエラーは訂正が行えなかった場合でもC2 でエラー訂正が行われますので問題はありません。C2 でもエラー訂正できない場合はCUエラーとなってしまいます。C1 エラーの発生は避けられませんが、少ないほどディスクは品質が高いといえます。音楽CDの場合は一定レベル以上のC2/CUエラー訂正が発生しないと音に大きく影響は出にくいのですが、データCDの場合は読み出しやすさに影響が出る場合があります(CD-ROMドライブの最高速度で読み出しにくい現象が発生することがあります)。またCUエラーとなった場合はECCでエラー訂正が行われますが(データCDのみ)、場合によってはデータが読み出せない可能性があります。

## 設定



### 表示範囲

縦軸の表示最大値の設定です。

### 表示時間

横軸の表示最大値の設定です。

### 測定トラック

測定するトラックの設定です。すべてのトラックを測定するか、選択したトラックのみ測定するか選択できます。

## 20、Q-Check FE/TE Test

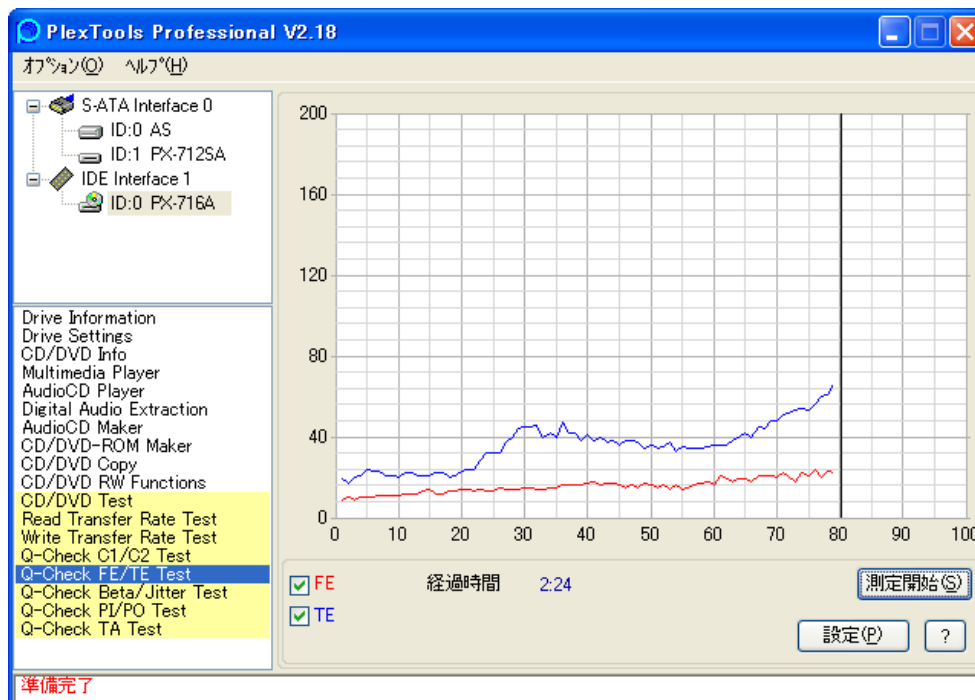
Q-Check FE/TE Test ではブランクの CD-R、DVD±R(PX-716A は DVD±RW も対応)メディアにテストライトを行いディスクの物理的特性を測定し、その特性(品質)よりディスクをドライブが高速で書き込むことができるか判定ができます。実際のライトは行われません。

### FE(フォーカスエラー)

ピックアップがディスク表面にレーザービームの焦点を合わせるための制御信号を表しています。

### TE(トラッキングエラー)

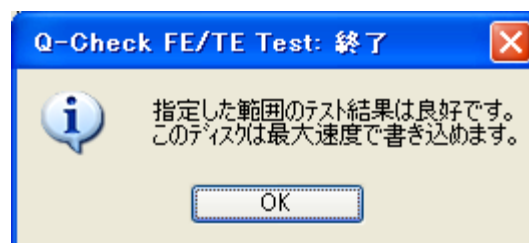
ピックアップがディスクのウォブルに追従するための制御信号を表しています。



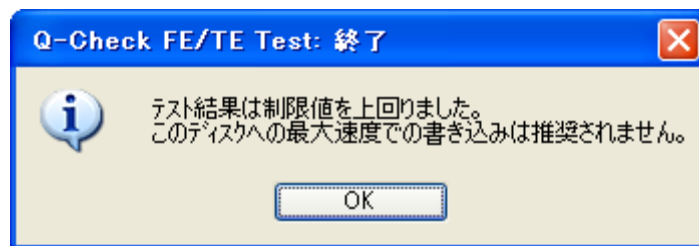
メディアの最高速でテストライトしてFE信号、TE信号を測定し、そのレベル変化をグラフ化しています。縦軸の値はDAC値です。最終的にFE/TEの最大許容レベルを上回っている位置があれば、最高速での記録を推奨しないこととなります。メディアのメーカーや種類によって最大許容レベルは異なりますので測定したグラフの形状が同様の結果が出てもディスクによっては高速書き込みが推奨されない場合もあります。

結果は以下のように表示されます。

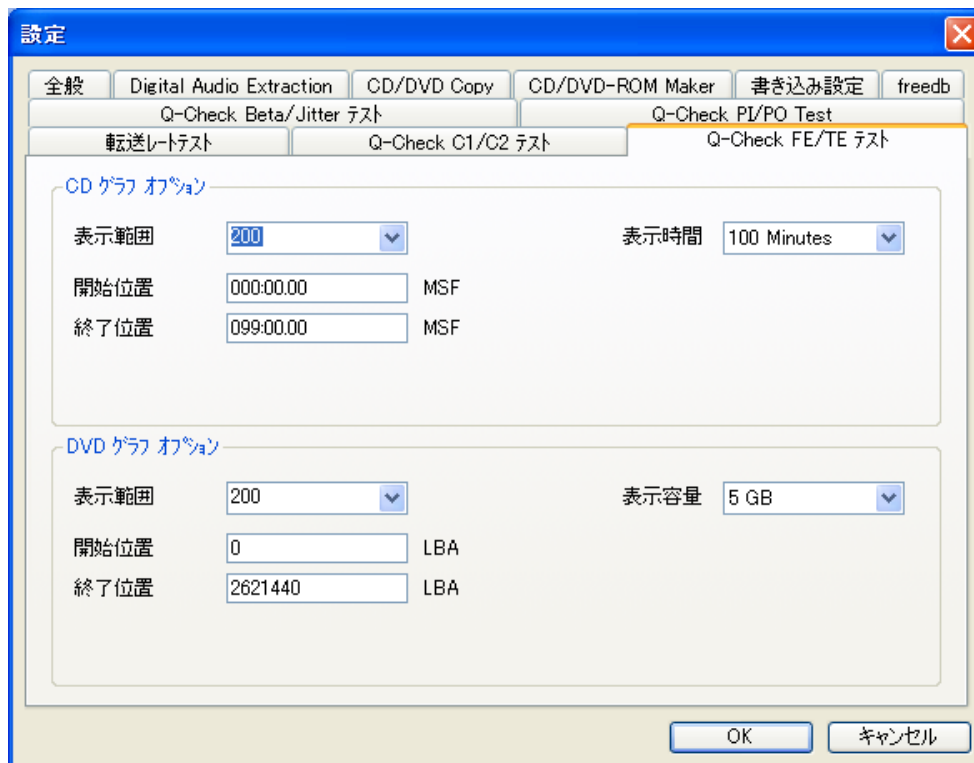
### ・最高速で書き込める場合



・最高速で書き込めない場合



設定



CD グラフオプション、DVD グラフオプション

表示範囲

縦軸の表示最大値の設定です。

表示時間

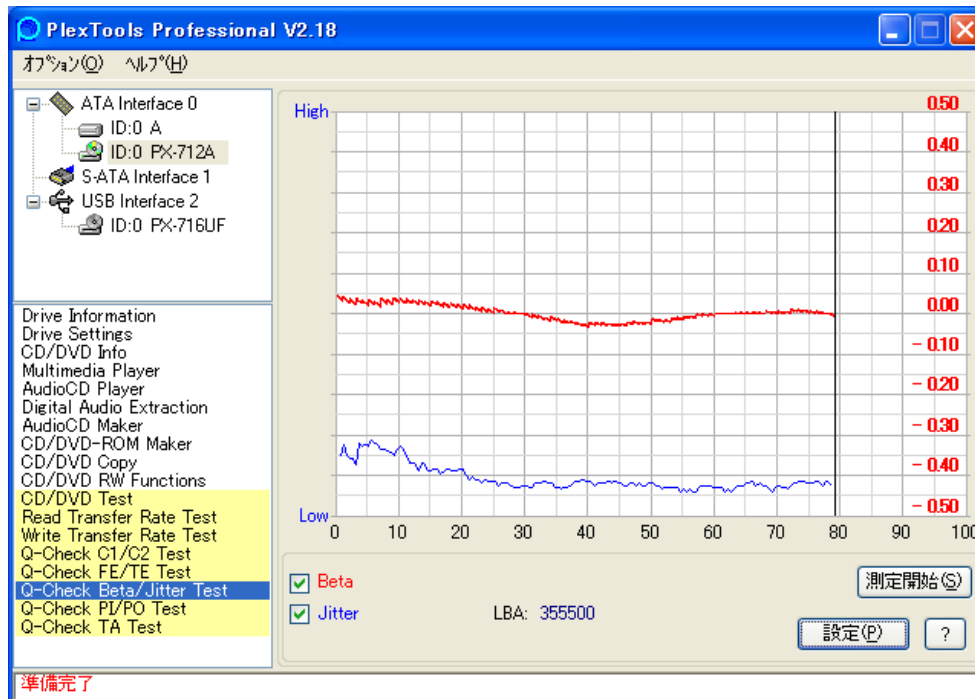
横軸の表示最大値の設定です。

開始位置、終了位置

開始位置、終了位置の設定です。CD は MSF 単位、DVD は LBA(LSN)単位で設定します。

## 21、Q-Check Beta/Jitter Test

書き込まれたディスクの Beta 値、Jitter 値を測定することで、ディスクの品質を確認できます。



### Betaについて

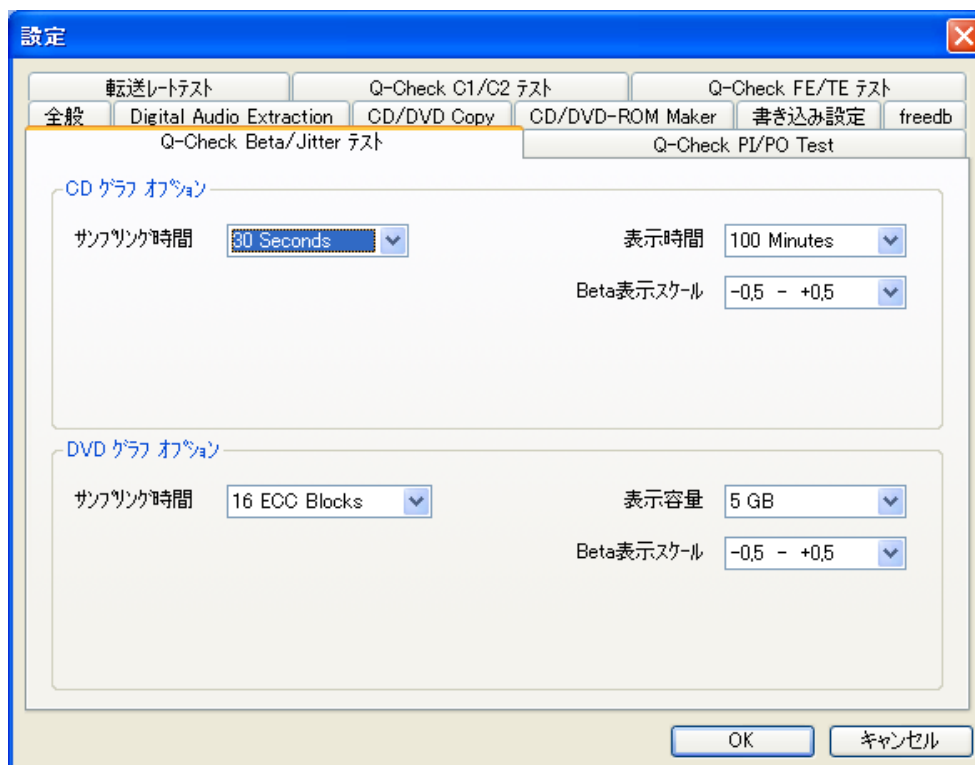
Betaとはレーザーパワーによるピットの深さの不均整を表します。11T振幅の中心電圧が0Vからどの程度ずれているかを測定し、ピットとランドの占める割合のバランスが表示されます。ピットが強いとプラス、ランドが強いとマイナスになります。(レーザーパワーが強いとピットが強く、弱いとランドが強くなる傾向にあります) 0に近いほど良い特性で(最適なレーザーパワーで)ライトされていると判断できます。

### Jitterについて

ディスク上に記録されているデータはピットとランドで形成され、それらは0と1の連続する羅列になります。0と1の羅列は、CDは3T～11Tの決められた9種類のパターンで構成され(DVDは3T～11T及び14Tの10種類)、それぞれのパターンには規格となる長さが決められています。ドライブは記録する際に、各Tの規格値を目指してピットとランドを形成します。しかし、メディアの熱に対する感度の差やレーザーパワーのばらつきなどによって、各Tの長さにもばらつきが生じます。その差をJitterといいます。一般に時間軸の不確定性と定義されます。これは軸方向の揺れで、ns(ナノセカンド)という単位で表現されます。(DVDでは%で表現されます。)

PlexTools Professionalでは3T～11T(または14T)信号のJitter値の平均を示します。この平均値は絶対指標ではなく、平均値に対して、どの程度のばらつきがあるのかの相対指標を表しています。あくまでディスク全般でのばらつき傾向の変化を見るためのものであって、異なるディスク間での比較はできません。

## 設定



### CD グラフオプション、DVD グラフオプション

#### サンプリング時間

サンプリング間隔の設定です。

#### 表示時間、表示容量

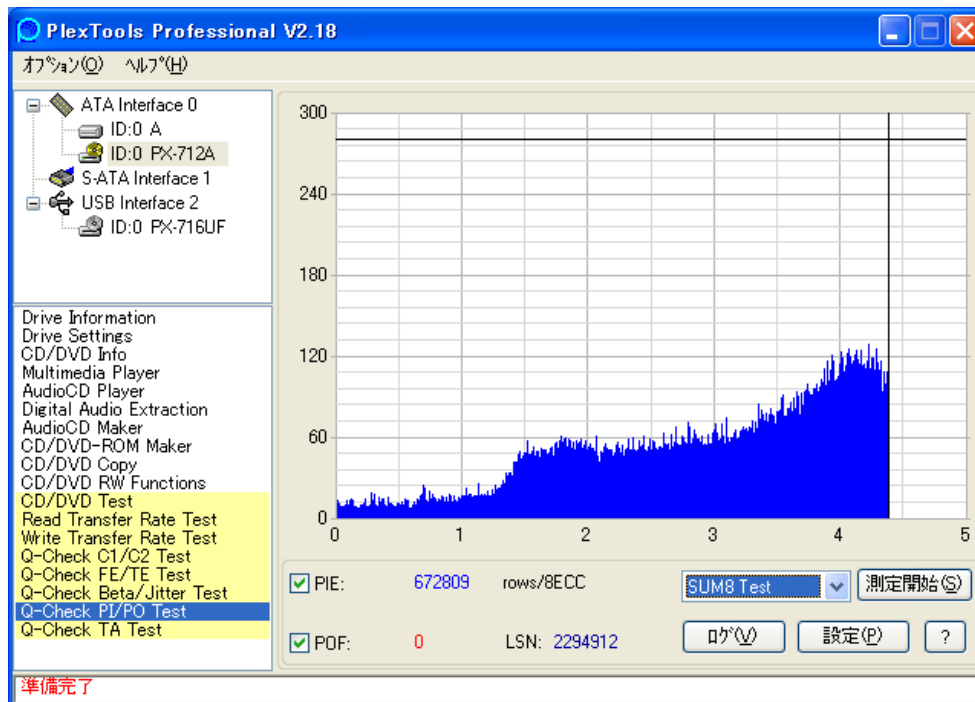
横軸の表示最大値の設定です。CD の場合は Minutes(分)、DVD は GB(ギガバイト)の単位で設定します。

#### Beta 表示スケール

Beta の縦軸表示範囲の設定です。

## 22、Q-Check PI/PO Test

DVD の誤り訂正は ECC 符号で行われ、1 つの ECC ブロックは、182 バイトの長さの行が 208 行集まって構成されています。1 行の中は 172 バイトのデータと 10 バイトのパリティ(PI: Parity Inner)、1 列の中は 192 バイトのデータと 16 バイトのパリティ(PO: Parity Outer)で構成されます。それらのパリティにより ECC 符号のエラー検出・訂正を行います。Q-Check PI/PO Test ではそれらのエラー訂正を行った合計を表示しディスクの品質を確認できます。



PI/PO 測定ログ画面

	PIE	POE	POF
Avg	4.69	-	-
Max	130	-	-
Total	672809	-	0

PI、POにはそれぞれ以下のようなエラーコードが存在します。

PIE: Parity Inner Errorsの数

POE: Parity Outer Errorsの数

PIF: PIで修正不可能なエラー数 (Parity Inner Fail)

POF: POで修正不可能なエラー数 (Parity Outer Fail)

PIで訂正不可能なエラー(PIF)が発生した場合でも、POで訂正処理されるので問題ありません。POFエラーが発生した場合はデータが読めない可能性があります。

4種類のテストモードから選択できます。

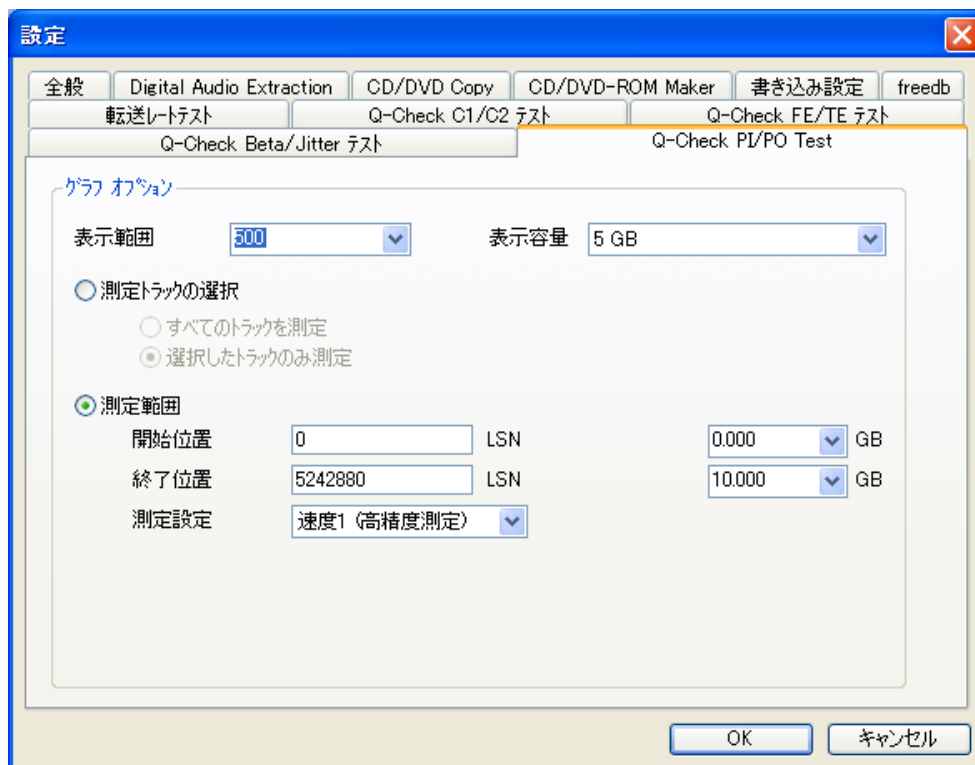
SUM8:連続する8ECCブロックごとに訂正前のPIエラー(PIE+PIF)と訂正不可能なPOエラー(POF)の数を測定します。

SUM1:1ECCブロックごとに訂正不可能なPIエラー(PIF)と訂正不可能なPOエラー(POF)の数を測定します。

Basic:1ECCブロックごとに訂正前のPIエラー(PIE)と訂正不可能なPOエラー(POF)のバイト数を測定します。

Burst:8ECCブロックごとに訂正されたPIエラー(PIE)と訂正前のPOエラー(PIF+POE+POF)と訂正不可能なPOエラー(POF)の数を測定します。

## 設定



### 表示範囲

縦軸の表示最大値の設定です。

### 表示時間

横軸の表示最大値の設定です。

### 測定トラックの選択

測定するトラックの設定です。すべてのトラックを測定するか、選択したトラックのみ測定するか選択できます。

### 測定範囲

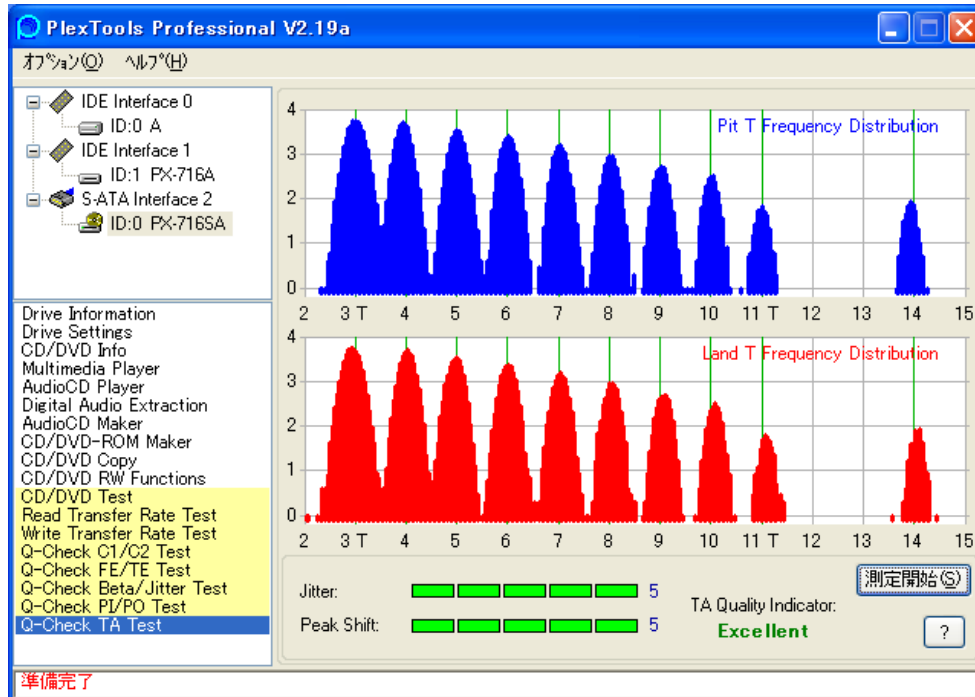
開始位置、終了位置の設定です。

### 測定設定

測定速度の設定です。5段階で設定できます。速度を上げると測定は早く完了しますが、精度は落ちます(POF エラーなど検出されない場合もあります)。ただし PIE エラーの傾向を確認できます。

## 23、Q-Check TA Test

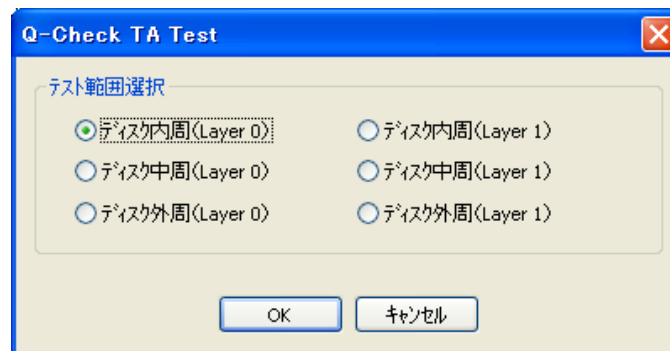
Q-Check TA Test では、DVD メディア上に実際に記録されているピットとランドの長さ(3~11T 及び 14T)の分布を測定し度数分布表示することで、記録済み DVD ディスクの記録品位を評価できます。



度数分布表示することでピット長/ランド長のばらつきが山状に形成されます。また記録する際は規格上短い信号(3T)ほど多用されるルールとなっていますのでグラフの山なりも右へ行くほど(Tが長くなるほど)小さくなります。

記録品位の良いディスクは3T~11T(及び14T)のピット/ランド分布がそれぞれ十分に狭くなり(長さのばらつきが狭くなり)、結果として隣のTの分布と接触せず独立します。また、グラフに表示されている緑色の縦線の位置はDVD規格書が定める各Tの分布の中心を表しています。記録品位の良いディスクはこの線上に各Tの分布のピークがあることとなります。

測定を開始すると以下のようなウィンドウが表示され測定する位置(内周、中周、外周)、レイヤ(Layer0、Layer1)を選択できます。



測定結果は Excellent、Very Good、Good、Not Good、Bad の 5 段階で表示されます。



## サポートシステム

OS: Windows98SE, ME, 2000, XP

Drive: Plextor 製 CD/DVD ドライブ

## サポート窓口

プレクスターテクニカルサポートデスク

サポート受付時間: 9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日(祝祭日は除く)

PlexTools Professional 専用 FAQ: URL: <http://plextor.jp/support/faq/ptp.html>

電話でのお問い合わせ: 03-3517-8064

FAX でのお問い合わせ: 03-3517-8065

Microsoft、Windows、Windows98、Windows98SE、WindowsMe、Windows2000、WindowsXP は  
米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

PoweRec、VariRec、GigaRec はシナノケンシ株式会社の商標です。

その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。